

第二十五回 貴族院議事速記録第十二號

明治四十二年三月八日(月曜日)

午前十時三分開議

議事日程 第十二號 明治四十二年三月八日

午前十時開議

- | | | |
|-----|--|-------------------------------|
| 第一 | 請願委員長報告 | |
| 第二 | 國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案 <small>(政府提出案 議院送付)</small> | 第一讀會 |
| 第三 | 登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法律案 <small>(政府提出案 議院送付)</small> | 第一讀會 |
| 第四 | 政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案 <small>(政府提出案 議院送付)</small> | 第一讀會 |
| 第五 | 帝國鐵道會計法案 <small>(政府提出案 議院送付)</small> | 第一讀會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第六 | 族稱ノ記載ニ關スル法律案 <small>(三浦安君提出)</small> | 第一讀會ノ續 <small>(委員長報告)</small> |
| 第七 | 競馬ノ善後策急施ニ關スル請願 | 會 議 |
| 第八 | 利根川水害豫防工事速成ニ關スル請願 | 會 議 |
| 第九 | 酒田新庄間鐵道急設ノ請願 | 會 議 |
| 第十 | 酒造稅法改正ニ關スル請願 | 會 議 |
| 第十一 | 教育基金填補ニ關スル請願 | 會 議 |
| 第十二 | 阿井郵便局ニ電信局併置ノ請願 | 會 議 |
| 第十三 | 三等郵便局集配事務開始ノ請願 | 會 議 |
| 第十四 | 清國木蠟ノ輸入稅增率ニ關スル請願 | 會 議 |
| 第十五 | 關稅定率法中「スチアリン」稅率改正ノ請願 | 會 議 |
| 第十六 | 「バラフキン、ワックス」及「スチアリン」輸入稅率改正ノ請願 | 會 議 |
| 第十七 | 山陰縱橫貫鐵道連絡速成ニ關スル請願 | 會 議 |
| 第十八 | 平戶區裁判所御厨出張所設置ノ請願 | 會 議 |
| 第十九 | 避難漁港築造ノ請願 | 會 議 |
| 第二十 | 山陰山陽連絡鐵道敷設ノ請願 | 會 議 |

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔宮田書記官朗讀〕

一昨六日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

帝國鐵道會計法案可決報告書

族稱ノ記載ニ關スル法律案否決報告書

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

砂糖消費稅法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵寺島誠一郎君 副委員長 男爵奈良原繁君

家祿賞典祿處分ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵吉井幸藏君 副委員長 男爵南岩倉具威君

同日議員男爵松平正直君外五名ヨリ百十六名ノ贊成ヲ以テ左ノ法律案ヲ提出セリ

東京都制案

千代田縣設置ニ關スル法律案

東京都千代田縣組合法案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

狩獵法中改正法律案

拘留科料ニ關スル裁判法案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、請願委員長報告、請願委員長三宅君

〔三宅秀君演壇ニ登ル〕

○三宅秀君 是ヨリ前會ニ報告ヲ致シタル後、今日マデノ請願委員會ノ經過ヲ簡單ニ御報告イタシマス、請願委員會ヲ開キマシタルコトハ三度、分科會ヲ開キマシタルコトガ八回、文書表ヲ提出イタシタルコトガ三回、特別報告ヲ出シタルコト三回、請願書受領ノ件數ハ百七件、通數ニ致シテ百三十二通、其中文書表ニ掲ゲマシタルモノガ九十七件、審議ノ結果院議ニ付スベシト致シマシタルモノガ三十七件、院議ニ付スルヲ要セズト致シマシタルモノガ三十九件、審査未了ノモノガ八十一件、請願文書表ニ未ダ載セマセヌ所ノ件數ガ三十五件、通數ニ致シテ四十通殘ッテ居リマス、是ガ前會以後ノ請願委員會ノ報告デアリマス、序デニ一言諸君ニ申上ゲテ置キタイコトガゴザイマス、追々會期モ切迫イタシマシタルコトデゴザイマスルカラ、請願ノ御紹

介ガゴザイマスルナラバ、成ルベク早く御提出ニナリタイト存ジマス、少ナクモ一事件ニ付キマシテ審議イタシテ當議場ノ會議ニ上ボリマスマデニハ一週間グラキノ日子ハ必要デアリマスルカラ、成ルベク本月ノ十五日前後グラキマデニ御提出ニナルコトヲ希望イタシマス、ナゼカナラバ審査未了ニ終リマスルノハ請願者ニ對シマシテモ甚ダ氣ノ毒ニ存ジマスカラ、ドウカサウ云フコトニ願ヒマス、又御紹介ニナリマス節ニハ、請願文書ノ中ニ熱誠ニ請願ヲ致シマス者ハ、往々言辭ガ荒ッポクナリマシテ粗暴ナ文字ヲ用キテ居リマス、是ガ式ニ違ヒマスマデノ程度ニ進ンデ居ル時分ニハ、無論却下ノ途モゴザイマスシ、色々ゴザイマスガ、左ホドデモゴザイマセデ唯熱誠ノ餘リニ荒イ言葉ヲ用キタダケノモノデゴザイマス、審査ノ際大ニ苦シミマス、或ハ其請願ヲ採リマスマデニ、紹介議員ノ御手ヲ經テ請願者ノ意思ヲ今一遍突留メルト云フ無用ノ手數ガ掛リマシテ、審査ガ長引キマス、從ッテ審査ガ困難ニナリマスカラ、成ルベク御取次ニナリマス文書ノ中ニハ、餘リ過激ナ文字ノ使ッテナイヤウニ、豫メ請願者ニ對シテ御戒メヲ願ヒタウ存ジマス、ソレカラ請願文ノ結末ヘ持ッテ參ッテ建議セラレタシト云フコトガ能ク書イテゴザイマスガ、是ハ誠ニ解釋イタシマス時分ニ苦シムノデアリマス、請願ノ趣旨ヲ本院ガ採ッテ政府ニ向ッテ建議シテ貰ヒタイト云フ意味デアルカ、或ハ詰リ請願ガ通りサヘスレバ宜イカラ此請願ノ趣旨ヲ貰クヤウニシテ欲シイト云フ意味デアルカ、チヨット之ヲ理解スルニ苦シミマスカラ、ソレモ紹介者ノ手ヲ經テ請願者ノ意思ノアル所ヲ突留メタリ致シマスルト、又幾分ノ日子ヲ費ヤシ、勞モ殖エテ參ル譯デアリマスルカラ、請願ノ次第ヲ書キマシテ、其アトニ「建議セラレタシ」ナドト云フ文字ハ無イ方ガ宜シイト存ジマスカラ、ドウゾサウ願ヒタウゴザイマス、ソレカラ又請願文書ノ末ニ參リマシテ、何ノ法案ハ可決セラレタイトカ何ノ法案ハ否決セラレタイト云フ文字ノ這入ッタ請願書ガ參リマス、是モ取次ギマスノニ甚ダ困リマス、請願ノ意思ニ依ッテ此上院ノ諸君ノ意思ガ上下左右サレル譯ノモノデハ無カラウト存ジマスカラ、何ノ法案ハ可決セラレタイトカ或ハ否決セラレタイト云フヤウナ請願書ハ成ルタケ御取次ギ下サラヌヤウニ願ッテ置キマス、ソレカラ追々見テ居リマスル請願ノ中ニハ、至ッテ誠心誠意ヲ缺イテ居ルヤウナ請願モ見エマス、ソレハ前回ニモ前回ニモ請願ガ採擇ニナッテ居ル、ソレ故ニ本年モ此請願ヲ採擇シテ吳レイト、斯ウ云フ請願デ、何ノ事ヤラ一向分リマセヌ、

毎年改選ニナリマスル此請願委員ニ對シテ、前年採擇ニナッタトカ或ハ前々年ニ採擇ニナッタカラト云ッテ事柄ヲ極ク疎略ニ書イテ仕舞ッタノガ見エマシテ請願ノ意思ガ分ラヌヤウニ立至リマス、至ッテ不深切不熱心ノ請願ノ致シ方ト思ヒマス、サウ云フヤウナモノハ、成ルベク丁寧ニ事柄ヲ書カセルヤウニ致シタイ考デアリマスルカラ、是モ諸君ニ御願ヒヲ致シテ置キマス、ソレカラ今一ツハ交通ノ事例ヘバ鐵道ノ敷設トカ、或ハ航海線路トカ云フヤウナモノトカ、竝ニ河川ノ水利ノコトナドヲ請願イタシテ參リマス時分ニ、其土地ノ繪圖面グラキハ是非添ヘテ貰ヒマセスト云フト、一向分ラヌコトナリマス、一例ヲ申上ゲマス、ドコソコニ縱貫線路……鐵道ノ縱貫線路ヲ置イテ吳レイトカ、或ハドコソコニ橫貫線路ヲ置イテ吳レイトカ云フ漠然タルコトデ、一向道筋ガ分ラヌコトガゴザイマスカラ、水路デゴザイマス、或ハ鐵道其他ノ交通ノコトデアリマスレバ、成ルベク地圖ヲ添ヘテ深切ニ願ヒ出サヤウニ、ドウゾ諸君カラ請願者ニ向ッテ御傳ヘヲ願ヒタウゴザイマス、先ヅ報告イタスコトハソレダケ……

〔男爵伊達宗敦君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 伊達男爵ハ……

○男爵伊達宗敦君 本日日程ニゴザイマスル所ノ請願ノ件ニ付イテ委員長ニ質問ヲ致シタイノデアリマスガ、此場合ニ致ス方ガ然ルベキデアリマセウカ、或ハ日程ニ移リマシタ時分ニ質問ヲ致シマセウカ、如何デゴザイマセウカ
○議長(公爵徳川家達君) 伊達男爵ノ御質問ニナリマスル請願ノ會議ニ移リマシタトキガ宜カラウト存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第三、登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第四、政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月四日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案

國債ノ利子ニハ所得稅ヲ課セス

附則

本法ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月四日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法律案

法令ノ規定ニ依リ擔保トシテ國債證券ヲ供託又ハ寄託スル場合ニ於テハ證券ヲ發行セサル登錄國債ニ付テ擔保ノ登錄ヲ受ケ之ニ代フルコトヲ得

政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月四日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案

政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保トシテ提供シタル國債ヲ法令ノ規定ニ依リ公賣スヘキ場合ニ於テハ國債證券買入銷却法ニ依リ其ノ國債ノ債權金額ヲ以テ之ヲ買入レ銷却スルコトヲ得

〔國務大臣侯爵桂太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(侯爵桂太郎君) 諸君、唯今當議場ニ議題ト相成ッテ居リマスル所

ノ國債ノ利子所得稅免除法案外ニ案、此場合ニ於キマシテ一言申述ベテ置キマスル必要ガアラウト考ヘマス、諸君モ御承知ノ如ク此三案ハ最モ財政ノ經畫ニ直接關係ヲ致シテ居ル所ノ法案デゴザイマスル故ニ、何卒慎重審議ヲ盡サレマシテ速ニ御協贊ノアラムコトヲ、偏ニ希望イタス次第デゴザイマス

○伯爵廣澤金次郎君 政府ニ質問ガアリマスルガ、此公債價格ノコトニ付イテ少シ政府ニ質問ガアリマス、政府ハ色々或ハ契約トカ、其他總テノ點ニ於テ民間或ハ一個人、或ハ會社ヨリ提供ヲ命ゼラレル保證金ノコトニ付イテ質問ガアリマスルガ、政府ガ提供ヲ命ゼラレル公債ハ本員ノ記憶スル所デハタシカ時價デ認メラレテ居ルト考ヘマス、政府ハ既ニ所得稅ノ……利子所得稅ノ免除ヲ命ゼラレル以上ハ、公債……其他發行シタル公債ヲ百圓ノ公債ハ百圓ニ取ラレスト云フ理窟ハナイト思ヒマスガ、將來ハ保證金ハ公債ノ價格額面ヲ以テ之ヲ取ラレルノデアリマスカ、其點ヲチヨット伺ヒタイト考ヘマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今御尋ネニナリマスルノハ政府ヘ保證ニ取ル公債……

〔伯爵廣澤金次郎君「公債ノ價格」ト述フ〕

ソレニ付キマシテハ既ニ先年勅令ヲ發布イタシマシテ、額面金額デ保證ニ取ルト云フコトニナッテ居リマス

〔伯爵廣澤金次郎君「イツデス」ト述フ〕

昨年ノ事デゴザイマシタガ、勅令ノ番號ハ取調ベテアトカラ申上ゲマス

〔政府委員若槻禮次郎君ヨリ答辯中ノ勅令ノ番號ハ明治四十一年十一月二十八日勅令第二百八十七號ナル旨申込アリ〕

○中島永元君 私モチヨット政府委員ニ御尋ネ致シタイノデアリマス、是マデ國債ノ利子ニ對スル所得稅ノ免除ハドウ云フ部類ガ免除シテアリマスカ、帝室ノ公債ハ勿論ノ事デゴザイマス、其他官廳或ハ外國人トカ云フヤウナモノデ、其免除シテアッタ區域ヲ御尋ネシタイ

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 是マデ發行イタシマシタル公債ニシテ、外國デ發行シタモノ、所得稅ヲ取ラスト云フコトハ、是ハ申上ゲルマデモナイコト、思ヒマス、何トナレバ外國デ發行シマシタモノハ皆仕拂地ガ外國ニアルコトニナッテ居リマスカラ、所得稅法ニ依ッテ自ラ稅ガ課カラヌコトニナッテ居リマ

ス、ソレカラ内國ニ於テ發行シマシタ公債ノ中、日露事變ニ付イテ其經費支辨ノ爲ニ出シマシタ公債、是ハ所得稅ヲ免除スルト云フコトニ致シテ居リマスルノデ、約五億萬圓バカリノモノハ、初メカラ所得稅ヲ課ケナイト云フコトニ依ッテ發行シタ公債デアリマス、其他約四億五千バカリノ公債ハ是ハ法律ニ依ッテ免除スルト云フ規定ハ無イノデアリマスカラ、稅ヲ取ルノデアリマスカ、併シ帝室御所有ノ物ニ付イテ稅ヲ取ラヌト云フコトハ無論デアリマス、ソレカラ公ケナル營利ヲ目的トセザル者ノ持ッテ居リマスモノハ……所得稅法ノ第五條ニ當リマスモノハ稅ヲ取ラヌコトニナッテ居リマス、大體サウ云フヤウナモノニナッテ居リマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノコトニ付イテ御諮リヲ致シマス、大藏大臣ノ説明モ三案トモ同時ニ致サレマシタカラ、特別委員モ三案トモ同一委員デ宜カラウカト考ヘマスガ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無イト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五、帝國鐵道會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長會我子爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

帝國鐵道會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月六日

右特別委員長

子爵會我 祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵會我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵會我祐準君 帝國鐵道會計法案ノ委員會ノ結果ヲ報道イタシマス、本案提出ノ理由ハ既ニ國務大臣ガ本議場ニ於テ説明サレタノミナラズ、尙又委員會ニ於テモ敷衍シテ御説明ニナリマシタ、帝國ノ鐵道、鐵道ノ大部分ガ統一ニナリマシタ結果、一般會計ヨリ引放チテ茲ニ一本立チ即チ獨立セシメルト云フコトハ、今後線路ノ延長ニ對シテモ、又ハ改良ニ對シテモ、營業上ニ於テモ甚ダ便利デアルノミナラズ又豫算編製上毎年毎年甚ダ困ル次第モアル

之ヲ一般會計ノ連繫ヲ斷チマスレバ、鐵道ノ資金ヲ調達スル方ニ於テモ、又營業的ニ此鐵道ノ事業ヲ進マシムルノニモ亦多クノ便利デアル、斯ウ云フ趣意デアリマス、本委員會ハ御承知ノ通り十五人委員デアリマシタガ、三回ニ涉ッテ議事ヲ開キマシタ、イツモ能ク委員ハ御出席ニナリマシタガ、其中一人ハ始終御缺席デアリマシタ、質問ハ實ニ澤山出マシタ、本案ニ付イテノ質問ハ甚ダ澤山デアリマシタ、殆ド毎條質問アラザルナク、或ル條ノ如キハ數十ノ質問ガ出マシタ、是ハ元來、會計法デアリマスカラ、隨分其關係スル所ガ面倒デ解釋シ難イ所ガ多イカラ澤山ノ質問モ出タニハ相違ナイデアリマスガ、尙ホ此案ト云フモノハ文字ニ於テ甚ダ出來デアリマス、法文ガ甚ダ不熟デアリマス、ソレガ爲ニ甚ダ了解ニ苦シム所ガアリマス、質問ノ多カッタ理由ハ確カニ一ツハ是レデアリマス、是ハ近來珍シキ出來ナ文案デアリマス、併ナガラ委員方ガ熱心ニ質問サレマシタ結果、法案ハ分リマシタ、能ク了解セラレマシタ、了解サレテ見マス、別ニ不都合ナコトモゴザイマセス、譯ハ分ッテ居リマス、唯今此席ニ於キマシテ此長イ間ノ質問ニ於テ得タル所ノ解釋ヲ一々諸君ニ御報道イタシマスコトハ到底不可能ノコトデアリマス、ソレハ諸君ハ我々ヨリ能ク御解釋ナサル人モアリマセウシ、又我々ノ如ク御解釋ニ苦シミナサツタナラバ御問ヒニナレバ其席デ御答モ致シマセウト考ヘマス、第十五條ハ御承知ノ通り衆議院デ修正ニナッテ居リマス、此點ニ付キマシテハ政府モ復活ヲ求メマセス、政府ガ復活ヲ求メス所以ノモノハ、此修正サレタ事柄ヨリ多ク初メヨリ豫期シテ居ラスノデアリマス、是デ澤山デアル、何モ差支ナイ、修正サレタ條文グラキニ初メヨリ企圖シタモノデアリマス、チヨット見マスルト修正案ハ範圍ガ狹クナツタヤウデアリマスケレドモ、政府ノ希望ニハ背カナイト云フコトデアアル、ソレ故ニ復活ヲ求メナイ、十六條、是ハ一讀シマススト直チニ分リマスガ「本會計ニ於テ借入金ヲ要スル場合ニ一般會計特別會計ハ其ノ資金ニ餘裕アルトキハ之ニ對シ貸付ヲ爲スコトヲ得」トアル、是ハ此法案即チ鐵道會計ガ金ヲ借ルコトハ二條、四條、十二條ニ規定シテアリマス、是ハ鐵道會計ニ金ヲ貸シテモ宜イト云フコトヲ規定シテアリマスカラ、謂ハハ條文外ノヤウナモノ、貸シテ宜イ、餘ッタ金ガアレバ貸シテ宜イ、是ハ何ノ必要ガアルカト云フ質問ガ出マシタ、借リテ宜イトカ貸ストカ云フコトナラバ宜シイガ、鐵道會計ニ向ッテ貸シテ宜イト云フハ變デアル、云フコトガ出マシタガ、是ハ此條ガ此所ニ這入ッテ居ラヌト、各

特別會計、一般會計ニ向ッテ、悉ク鐵道會計ニ向ッテ貸シテ宜シイト云フ條ヲ加ヘナクテハナラス面倒ガアル、斯ウ云フ説明デアリマス、尤モ何カ先例ガアルカ、所ガ其先例ガ甚ダ適當ナラザル先例、ガッチリ之ニ嵌マル先例ハ無イガ似寄ッタ先例ガアルト云フコトデアリマス、是ハ何モ害ガ無イヤウダカラマア強ヒテ之ヲ削ルト云フ程ノ必要モアルマイ、害ガ無イト云フヤウナコトデ別段議論モゴザイマセヌデアリマシタガ、願ハクハ是ハ單行法律ニデモナッタラバ都合ガ好カラウト云フ説ガ出マシタ、併シ議論トシテハ其所ニ提出サレヌデアリマシタ、質問ハ斯ノ如ク澤山前ニ申上ゲマシタ通り澤山アリマシテ、サウシテ討議ニ移リマシタ所ガ、討議ハ又質問ニ反シテ何等ノ議論モ無ク、全ク原案通り即チ修正案ノ通りニ全場一致ヲ以テ可決シマシタ、サリナガラ一ツノ希望ガソレニ添ウテ居リマス、文章ノ不熟ナル所ハ委員一同ノ等シク認メラレタ所デアリマシテ、他日明年若クハ明後年ニ文字文章……字句文章ヲ修正スルコトヲ欲スルト云フノ希望ヲ以テ可決サレマシタ、本案ハ豫算ニ大關係ヲ有シテ居ルノハ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、其豫算ノ審査ノ都合ハドウカト云フト、明日ニモ豫算總會ニモ上ボルベキ運ビニ相成ッテ居リマスルノデアリマス、加之本案ハ一院ニ於テ既ニ通過シテモ居リマスニ依ッテ旁、以テ前陳ノ如ク文字、字句文章ハ甚ダ出來トハ思フケレドモ可決スルト云フコトニナリマシタ、終リニ臨ンデ尙ホ一言イタシテ置キマスガ、第十七條、即チ附則デアリマス、之ヲ皆サン御覽クダサイ「帝國鐵道會計法及」コレ「ハ」之ヲ廢止ス「ト云フコトガアリマス、其前ノ一項ニ「本法ハ……施行ス」ト云フコトガアッテ二項ニハ廢ストアル、所ガ是ハ同ジモノデアアル、帝國鐵道會計法ヲ施行シテ、サウシテ帝國鐵道會計法ハ廢止スト云フト、此法律ヲ施行シテ當日直グニ廢止サレルヤウニ見エマスガ、二項ノ「廢止ス」ト云フノハ舊法律デアアル、偶、是ガ同ジ名前デアリマスカラ、チヨット變ニ聞エマスノデアリマス、何故ニ之ニ番號ヲ付サナイ、法律第何號ト云フコトヲ書カナイカト云フコトノ質問ニ對シテ、政府ノ近來ノ慣習デハ番號ヲ付サナイコトニナッテ居ル、是ハ間違ヘサヘシナケレバ宜シウゴザイマス、發布サレル其日ニ廢止サレルコトデハナイ、前ノハ廢止サレテ後ノハ生キテ居ルト云フコトデアリマスカラ、チヨット御注意ニ申シ置キマス、委員長會ハ前ニモ申ス通り全會一致ヲ以テ本案ヲ可決シマシタ、ドウカ諸君モ御賛成アッテ速ニ可決アラムコトヲ希望シマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御發言モ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵會我祐準君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵田健治郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ直チニ第二讀會ヲ開クト云フ説ニ對シテ御異存ゴザイマセスカ

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……全部ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵會我祐準君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵田健治郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセスカ

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第六、族稱ノ記載ニ關スル法律案、三浦安君提出、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長德川伯爵

族稱ノ記載ニ關スル法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月六日

右特別委員長

伯爵德川 達孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵德川達孝君 族稱ノ記載ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道イタシマス、此委員會ハ本月ノ三日ト六日ノ兩日ニ互リマシテ慎重ニ審議ヲ致シマシタ、諸君モ御承知ノ如ク此法律案ハ昨年貴族院ニ提出ニナリマシタ所ノ平民ノ稱記ニ關スル建議案ノ生レ代リト云ウテモ宜イヤウナ案デゴザイマシテ、諸君ニハ既ニモウ御承知デゴザラウト存ジマス、併ナガラ其後ニ新ニ議員ニナラレタ御方モゴザイマセウト存ジマスルカラシテ、本案ヲ提出サレタ理由ヲ述ベヤウト存ジマス、ソレニ又此委員ノ内ニハ本案ヲ提出セラレタ所ノ三浦君モ居ラレマシタカラシマシテ、一應提出ノ理由ヲ承リマシタ、此理由ハ既ニ本案ノ理由書ニモゴザリマスルガ如ク、諸官衙等へ願届ヲスルトキニ平民ノ肩書ヲ書イテ出スコトガ今日マデノ慣例デアル、併ナガラ此國民ノ内ニ平民タル所ノ人ハ數多ゴザイマスルニ依ッテ、一々書クコトニ付イテハ餘ホド手數デアル、ソレハドウ云フ譯デ手數デアルカト申セバ、若シ書カズニ出シタ場合ニハ是ガ何モ書イテナイカラ書キ直ス、斯ウ云フヤウナコトノ爲ニ餘ホド手數ガ掛ッテ居ル、ソレユエ此肩書ト云フコトヲ書クノヲ廢メレバ餘ホド手數ガ省ケテ其爲ニ事務ヲ執ル上ニ於テモ餘ホド便利ナコトデアル、且又華族トカ士族トカ云フ所ノ人ハ國民ノ内デモサウ數多ク無イコトデアルニ依ッテ、サノミデハナイケレドモ、平民ト云フモノハ澤山アルカラシテ、ナカ／＼是ハ煩雜デアル、且又人民ガ煩雜ニ感ズルノミナラズ此願届等ヲ請取ル所ノ官衙公署ニ於テモ煩雜ヲ感ズルコト故ニ、此煩雜ヲ避ケシムルト云フコトハ、事小ナリト雖モ影響スル所ハナカ／＼多イカラシテ、ドウゾ廢メタイモノデアル、斯ウ云フヤウナ趣意ヲ以テ提出ニナッタ譯デゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ政府委員ノ出席モ請ヒマシテ、種々質問モゴザイマシタガ、一々之ヲ玆デ申スコトハ餘リ諄々シウゴザイマスカラ略シテ置キマス、實ハ委細ハ速記録……ト申シタイガ、生憎此委員會ニハ速記ハ致シマセスカラ速記録ハゴザイマセスカラ、諸君ガ御覽ニナル機會ハゴザイマセス

ガ、數多ノ質問ガゴザイマシタカラ成ルタケ其内ノ要點ヲ一ツ二ツ申シテ置カウト存ジマス、其要點ハ一體此平民ト云フモノハ華族トカ士族トカ云フ族稱ト同ジモノ、ヤウニ今日、政府ノ方デ見テ居ルカ、斯ウ云フ質問ガゴザイマシタ、或ハ又若シ本案ガ通過シタ場合ニハ色々ノ法令ニ如何ナル關係ヲ及ボスカ、其爲ニ他ノ法律ヲ改廢スル所ノ必要ガ生ズルデアラウカト云フコトデ、種々質問ガ出マシタガ、此二點ニ付イテ政府委員ノ答ヘル所ハ、平民ト云フコトハ今日ノ慣例トシテ矢張り一ツノ族稱ト看做シテ取計ッテ居ル、又第二ノ方ノ質問ニ答ヘマスノニハ、願届ダケヲ廢メルト云フノナラ免モ角モ、他ノ法律ニ……チヨット申誤リマシタ、願届ノミノコトナラ他ノ法令ニ影響ハシナイガ、若シ提出者ノ說ノ如ク戸籍法ナドニ關係ヲスルヤウナコトナラバ、ドウモ差支ヘル、斯ウ云フノデアリマス、又或ル委員ハ提出者ノ述ベル所ヲ以テ見レバ、願トカ届トカニ平民ト云フ文字ヲ省クト云フノミニ聞イテ居ルケレドモ、段々此原案ヲ能ク見レバ、諸官衙ノ公簿、公ケノ帳面ニ名ヲ載セナイト云フコトニナルカドウカト提出者ニ問ヒマシタ、其時提出者ノ答ヘニ初メ説明シタトキハ願届ダケ省クヤウニ申上ゲタガ、詰ル所ハ自然、公簿ナドニ平民ノ稱呼ヲ載セスコトニスレバ平民ト云フ稱呼ハ自然的ニ消滅スル譯デアル、斯ウ云フヤウナ提出者ノ答デアリマシタ、質問ノコトハソレ位ニシテ置キマス、ソレカラ討論ニ入リマシテ又政府ノ意向ヲ承リマシタ所ガ、平民ノ二字ヲ省クト云フコトハ強ヒテ反對モシナイ、シナイケレドモ若シサウ云フ事柄ガ諸官衙ノ公簿ニマデ載セルコトヲ廢メルコトニナッテハ隨分影響スル所ガ多イ、ソレハチヨット一例ヲ申セバ、一家ノ内ニ士族ナラバ士族、其家族ノ内ニ士族デナイ者ガアル、其時ニ士族何ノ某ノ何ト云フトキニ、マルデ書カナケレバ矢張り士族ト看做ス、ソコデ書ケバ平民ト云フコトガ分ルガ、サウ云フヤウナコトモアルカラシテ、此文章ヲ修正スレバイザ知ラズ、此儘デ通スコトニナッテハ、ドウモ同意ガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ意味デ政府委員ニ於テハ反對ノ模様デアリマス、又委員ノ中ニハ、此案ハ先年モ出タ建議案ト同様デアリマスカラ左ホド激シイ討論モ無カラウト思ッテ居リマシタ所ガ、是ハ豫期ニ反シマシテ賛否交、熱心ナル賛成ノ議論ト熱心ナル反對ノ議論ガゴザイマシテ、之ヲ一言以テ形容スレバ口角沫ヲ飛バシ意氣天ヲ衝キ、氣焰萬丈當ルベカラズト云フ有様デ、盛ニ討論ガアリマシタ、併シ此事ヲ申シマスト長クナリマスカラ形容ノ言葉デ止メテ置キマシテ、是カラ大要ダケ

ヲチヨット申述べマスレバ、反對ノ論者ノ中ニハ、延期的ノ意味ヲ以テ反對シタ御方ト、絶對的ニ反對ヲスル御方ト、此二ツアリマシタ、延期的ノ反對ハ何ゾヤト申セバ、成ルホド平民ノ字ヲ廢スルト云フコトハ或ハ必要デアルカモ知レヌ、併ナガラ古クカラ日本ノ風俗慣例トシテ行ッテ居ル、ソレヲ一朝廢スルト云フコトハ容易ナラスコトデアルカラ、是ハ篤ト研究ヲ積ンダ上デ廢スベシト云フナラバ廢シテモ宜シイ、輕卒ニ決メルモノデナイカラ篤ト研究シタイト云フ意味ヲ以テ、ドウカ本日ハ之ヲ決議ニナラヌヤウニ、詰リ否決ヲシタイト云フ意味デ反對ヲサレマシタ、モウ一ツノ方ノ絶對的ノ反對ハ、敷島ノ大和ト云フ所ノ枕言葉ヲ先キニ置カレテ、我ガ日本國ノ建國ノ昔ヨリ現今ニ至ルマデラ歴史の沿革のニ述ベテ、平民ノ二字ヲ廢スルト云フコトハ餘ホド日本ノ國體ニ關スルコトデアルカライケナイ、斯ウ云フ意味ヲ以テ反對ヲサレマシタ、又賛成ノ方ノ側ノ御方ハ平民ト云フモノハ、政府デハ族稱ト云フヤウナモノ、一ツ國民ト云フノデアッテ、華族、士族トカ申セバ罪ニ依ッテハ或ハ除族スルト云フコトガアルケレドモ、平民ハ除族シタカラト云ッテ矢張り平民デアル、ト云フ意味デ、二字省イタカラト云ッテ何モ國體ニ關係スルコトモ無イカラ、無用ナ手數ヲ省クノニハ此二字ヲ稱呼スルコトヲ廢メル方ガ必要デアル、斯ウ云フヤウナ單純ナ意味デ賛成ヲサレマシタ、右様ナ次第デ、採決イタシマシタ所ガ二名ニ對スル六名ノ多數ヲ以テ本案ハ否決スベキモノト議決ニナリマシタ次第デアリマス、昨年ハ二名ニ對スル四名ノ多數ヲ以テ本案ハ建議案トシテ可決ニナリマシタガ、本年ハ否決ニナリマシタ、熱心ニ御提出ニナツタ所ノ三浦君ニ對シテハ御氣ノ毒デアリマスケレドモ、多數決ノコトデアリマスカラ仕方ガアリマセヌ、是ダケヲチヨット御報告イタシテ置キマス、終リニ臨ンデ大變ニ長クナッテ失禮デアリマスガ一言申シテ置キマス、此問題ニ付イテ賛否交、兩論者カラ此演壇ニ於テ十分ニ御述べデゴザイマセウト存ジマスシ、且又委員長トシテ唯今不完全ナ賛否兩論者ノ御報告ヲ致シ、モット細カク致シタウゴザイマスガ、餘リ長クナリマスノ議場ノ諸君モ御退屈デアリマセウカラ、私ガ間違ッタコトヲ申スヨリモ、其賛否兩論者ヨリ御述べニナツタ方ガ能ク分ッテ又本員ノ足ラヌ所ヲ補ハレルデアラウト存ジマス、其反對ノ中デモ最モ御熱心ノ御方ハ關男爵デゴザイマス、是ハ必ズ此所デ御述べニナラウト思ヒマスガ、私ノ委員長トシテ不完全ナ報告ヲ補ウテ下サルヤウニ偏ヒマス、此事ヲ併セテ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 關男爵

〔三浦安君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 關男爵ノ通告ガアリマス

〔男爵關義臣君演壇ニ登ル〕

○男爵關義臣君 昨年ノ第二十四議會ニハ平民ノ稱號ニ關スル建議案ガ三浦サンカラ御提出ニナリマシタ、當年モ法律案トナツテ……族稱ニ關スル法律案トナツテ出マシタガ、昨年ノ建議案ノ文章トハ當年ノ御提出ニナリマシタノハ大層ナ違ヒデ、ヒドイ文字デアリマシテ、此案ガ出マスルト私ドモハ驚イタノデアアル、然ル所ガ當第一議會ノ折ノ御演說竝ニ本員カラ第一議會ニ伺ッタ御質問、竝ニ第一委員會ニ付イテノ御陳述ハ終リノ委員會ノ既ニ意見ヲ述ベル場ニナツテ御取消ニナリマシテ、ソレヨリ此法律案ハ字ノ如キ趣意ト云フコトニ正誤ヲセラレタノデアリマス、私モ三浦サンノ昨年ノ御趣意ニ對シマシテ反對ヲシタカラ今度ハドウゾ逆レタイト思ヒマシタケレドモ、兎角ニドウモ此度ハ最モ間違ッタ三浦サンノ御陳述竝ニ御趣意デアリマシタカラ、已ムヲ得ズ私ハ又此演壇ヲ汚スコトニナリマシタ、甚ダ三浦サンノ御精神ハ御老人ニ似ズ私ドモ感服ヲシテ居リマスケレドモ、御趣意ニ至ッテハマルデ私ハ感服ドコロデハゴザイマセヌ、服従スルコトハ一日モ出來ヌ者デゴザイマス、私ハ此原案ト御陳述ノ間違ウタ點ヲ委シク申上ゲタウゴザイマス、諸君ニ於キマシテモ御承知ノ通り訥辯ノ男デアリシ、近頃此新聞紙デ蠻聲ト云フハヤリガアリマスガ、私ハ蠻聲デアリマス、殊ニ又訥辯ノミナラズ早口デアルカラ、御聴キニクウゴザイマセウケレドモ、暫ク御清聴ヲ拜借イタシマス、〔謹聽ト呼フ者アリ〕畢竟提出者ノ初メノ御陳述デハ昨年ノ建議案ト同一ノヤウナ趣意デアッタノダ、又理由書ニモ平民ノ二字ヲ書クト書カザルノコトダケデアッタノデアアル、平民ノ二字ヲ書ク以上ハ、人民ニ強フルニ無益ノ煩累ヲ以テスト云フノガ要點ニ見エル、又第一議會ノ節ノ御演說ヲ見ルト、矢張り其通りデアッテ「此案ヲ提出イタシマシタ理由ハ略、案ニ附シテアリマスル所ノ理由書ニ申シテゴザリマス」ト唯イラザルコトニ煩雜ヲ致スヨリハ、寧ロ其平民ヲ書キサヘセバ宜シイト、斯ウ云フ御趣意デアアルノデアリマス、又本員ガ第一議會ノ質問ニ對シテノ御返答モチャ「平民ノ稱ヲ無クシテ仕舞ハウトマデニ致シマセストモ」斯ウ云フノデ、其次ニ「唯自分カラ何事ニモ平民ト書クノヲ廢メヤウト云フダケノコトデゴザイマスカラ……

尚ホ委シイコトハ委員ガ立チマシタラ委員會デ御答ヘ致シマス」ト斯ウ云フ御言葉デアル、又三日ニ初メテ委員會ガ開カレマシタ、其委員會ノ節、委員長ガ此法律案ノ御提出者カラ趣意ヲ一應御述ベナサレト云フ委員長ノ命ニ三浦君ガ言ハレタ所ハ、此案ハ簡單ナモノデ、人民ガ願届ニ一々平民ノ二字ヲ書クハ實ニ手數デ、誠ニ面倒ナノデアル、平民ノ肩書ガ無ケレバ平民タルコトハ分ルノデアル、華族士族ダケニ族稱ヲ記スレバ何モ記サナイモノハ平民タルコトハ分ルノデアル、平民ノ稱號ヲ無クスルマデノ意味ニハ互ツテ居ラスノデアル、タゞ平民ト肩書スル手數ヲ省クノデアル、ソレトモ官デ必要アリ、要ルコトガアレバ官デ書イテモ差支ハナイノデアルト、斯ウ云フ御趣意デアリマシタ、ソレデ第一ノ委員會ニ於キマシテハ此法文ノ「法令ノ規定ニ依リ」云々ト云フコトハ三浦サンノ御陳述トハ大變意味ガ違ウテアル、ケレドモ、御自身ガ説明サレノデアルカラ、其説明ヲ本當トシテ法文ハ第二ニシテ其説明ニ據ッテ御質問ヲ第一ノ委員會ニ於テハ致シタノデアル、其致シタ中ニデヤ、政府委員モチヨット言ハレタヤウニ思ヒマスガ、尚ホ三浦サンノ御明言セラレル趣意ト此法案ノ文義トハ違フヤウニ解釋シマシタガ、立案者本人ノ明言ニ依ルヲ確實ト信ズルヨリ外ハ無イト信ジマシタカラ、委員會デハ此法律文ノ趣意ニ拘ラズシテ御本人ノ説明セラル、ノニ基イテ質問シタノデアリマス、ソコデ三日ノ日ノ質問ハ質問ガ止ンデ終ッテ仕舞ヒマシタ、直チニ判決ニナリマスコトデアリマシタケレドモ、何カ委員ノ中ニ御都合モアリマシタノデ、判決ダケハ延ビマシテ、第二ノ委員會、一昨日、六日ノ日ニハ質問モ無イ、ソレカラ委員長ノ許可ヲ得マシテ私ハ意見ヲ少シ述ベタ、アトニ提出者三浦サンノ御説ガアリマシタ、其御説ハデヤ、是マデ第一讀會ノ節、述べラレマシタヤウナ、ドウモ平民ト云フモノハ族稱ガハナイノデゴザイマス、無イノデゴザイマスガ、明治八年ノ肩書ノトキニ華族士族平民ト書ケト云フコトガ三ツ連ネテゴザイマスニ依ッテ、ソレカラ以後ノ法律ナドニハ矢張り族稱ノ如シ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、サア此事ト云ヒ、又本員ガ伺ヒマシタ御返答ノコト、竝ニ第一ノ委員會デ御述ベニナツタコト、ソレハ皆平民自ラ平民ノ字ヲ書カナクテ宜イト云フ方ノ御趣意デアッタノデアリマス、トコロガ此事ハデヤ、今申上ゲタ終リノ日ニ於テ、意見ヲ陳述スル場合ニ當ッテ、是マデノ自分ノ陳述ハ誤釋デアル、是ハ誤解デアルト云フコトデアラウ、自分ノ誤解デアッタト云フコトニ氣ガ付イタ、故ニソレハ取消

シ更正スルカラ此法律文ノ通りニ平民ト云フコトハ無クナツテ仕舞フノデアアル、公簿モ官民一般、平民ノ字ハ無クナツテ平民ト云フコトハ無クナツテ仕舞フノデアアル、斯ウ云フ風ニ御變更ニナツタノデアリマス、ソレカラ遂ニ今ノ委員長ノ報告ノ通り決ヲ採ラレマシテ、二名ト六名ノ差ヒデ否決ニナリマシタノデゴザルケレドモ、甚ダ是ハワカシイコトデ、抑、此法律案ト云フモノハ三浦サンノ御手ニ出タモノデアラウト思フガ、諸君如何デアリマセウカ、自分ノ意思ヲ表ハスニハ口ト筆デアアル、自己ノ口カラ發スルコトガ筆ニ表ハレルノハ當リ前デヤ、ソレガ筆ニ表ハレテ居ッテ此説明ガ自分ノ口カラ表ハレルノガ間違ウテ出ルト云フコトハ恐ラク無カラウト思ウ、「ヒヤ」ト呼フ者アリ」ドウモ今、思想ヲ表ハスニハ口ト筆デヤ、筆デハ法律文ニ至ク平民ガ無クナツテ仕舞フ、是ハ私ハ初メカラ見テ居ル、然ルニ第一讀會デモ委員會デモ……第一讀會ノ御返答デモ總テ平民ノ二字ハ煩ハシイカラ、取ッテ仕舞ヘバ宜イノデヤ、斯ウ云フ御説明デアアル、既ニ理由書ニモサウデアアル、此理由書ニ如何デアリマスカ、矢張り是何シテ見ルト云フト此「平民ノ二字ヲ記スルト否トハ事小ナルカ如キモ」「人民ニ強ユルニ無益ノ煩累ヲ以テス」ト斯ウ云フコトニナツタノデ、法律文ト口トハ皆違フノデアアル、ドウモ自分ノ思想ヲ自分ノ筆デ現ハシテ、サウシテ説明ガ間違フト云フト、恐ラク白痴癡癡人ナラバ格別、三浦サンハ御老年デアッテモ、ナカ／＼精神ハ確カデ居ラレルノデアアル、其明言セラレタ趣意ト、サウシテ此法律案ト大ニ齟齬スル程ノ毫碌ハ決シテナスツテ居ラツシヤラスノデアアル、苟モ帝國議會ノ議題ニマデモ上ボセラル、法律案ナラバ慎重ニ筆ヲ御執リニナル筈デアルシ、御執リニナツタラウト思ハレル、然ルニ口ト筆ト齟齬スル所ハ私ハ甚ダ不審ニ堪ヘヌノデアアル、シテ見レバ此法律案ト云フモノハ三浦サンノ筆ニ出タノデハナクシテ、蓋シ他人ノ筆ニ成ツタノデハナイカトマデ思ハレルガ、果シテソレヲ事實トスレバ他ニ三浦サンノ依託ヲ受ケタ人ガアリ、三浦サンノ御趣意ヲ取違ヘテ、サウシテ此法律案ガ出來タノデハナイカト想像スルノガ不當デハナイト思フノデアアル、委員會ノ初日ノ三日ノ日ニ色々御質問ガアッテ、其御質問カラ、口ト文意ト違フ所ニ御氣ガ付イテ、第二ノ終ノ六日ノ日ニ正誤セラレタノデアリマスガ、是ハ甚ダ餘リ世ニ無イ珍シイコト、思ハレマス、又其邊デ……此議題ノ事件ハ委員付託ニナリマシタ以上、變更シタ例ハ澤山アルヤウデアリマスガ、ソレハ委員ノ意見ガ共同デ變更ニナツテ事柄ガ變更

ニナルノデアルケレドモ、此度ノヤウニドウモ其立案者ノ御本人ガ第一讀會
……委員會ノ第一ノ方ノ御答辯ヲ經テ、其後誤解ガアッタトカ、誤釋デアッ
タカラ變更スルトカ云フコトハ誠ニ珍シイ事件デアリマス、餘リ……私ハ十
年以上モ居リマスケレドモ聽カヌ事件デアリマス、ソコデ委員長ガ委員ノ決
ヲ採ラレル折ニ御贊成者ノ委員ノ一人ノ田中芳男君ハ、立案者ノ的ガ動イテ
……ドチラカニ動イテ居ル、斯ウ云フ分ラナイコトハ一層此件ハ延期スルガ
宜イ、言ウテ反對セラレタト私ハ心得マシタノデス、全ク立案者ノ三浦サン
ノ御趣意ハ初メカラ確定シテ居ラナシト、想像シ得ラレル、ソレカラ私
ハ此理由書カラ發案者ノ間違ッテ居ルコトヲ申上ゲタイト思フ、此理由書ニ
ハ「按スルニ人民署名肩書ニ華族士族平民ト記載セシムルノ制ハ明治八年ノ
太政官ノ布告ニ始マレリ」トアリマス、是ハ途方モナイ間違ノコトデアル、
是ハ明治四年ノ辛未ノ四月二十四日ニ戶籍法ノ改正ノ御達ガアリマシタ、此
折ノ即チ規則ト云フモノハ雛形ヲ以テ華族士族平民ガ悉ク其族籍ヲ書カナケ
レバナラヌ雛形門標デアリマシタノデアリマス、ソレカラ一體平民ノ稱號ト
云フコトハ、明治元年以後デアリマス、然ルニ此三浦サンノ御提案ヲ見ルト
明治八年ニ始メテ此稱號ガ三ツニ決マッタト云フコトヲ仰シヤルケレドモ、
又理由書ニモ現ハレテ居ルノハドウ云フ間違ノコトカ甚ダカシイコトデア
ル、一體コレニ引イテアル布告ニ付イテハ、ドウ御解シニナルカ、是ハ明治
四年ノ改正戶籍法ニ於テ肩書ハ何縣實屬華族、何府實屬士族又ハ平民、何府管
下平民、何縣管下平民、斯ウ云フコトガ書イテアル、ソレガ餘リ長イカラ五
年經ッタ後ノ八年ニ「肩書ノ儀自今實屬或ハ管下ノ文字ヲ除キ何府縣華族士
族平民ト記載可致」ト云フ布告ガ出テ居ル、能ク諸君ハ此布告ヲ御覽クダサ
イ、「實屬或ハ管下ノ文字ヲ除キ」トアル、アトハ是マデノ通りデ「實屬」ト云
フ字ト「管下」ト云フ字ヲ除イテ「華族」「士族」「平民」ト云フコトヲ記載セヨ
トアル、又但書ヲ御覽クダサルト明カデアル、之ヲ三浦サンハ金壁鐵城ノ如
ク明治八年ニ平民ガ始メテ稱號ノ如クニナッタト云フ御陳述デアル、稱號ノ
如クニナッタノハ、ソナナ時分デナイ、若イ御方ハ三浦サンノ御說明ヲ御聽
キニナッテ御信ジニナルカモ知レヌガ、私ノ暗記シテ居ルダケヲ一々書留メ
テアリマスカラ申上ゲマセウ、庚午……三年九月十九日ノ御布告ニ「自今平
民苗字被差許候事」、又辛未ノ六月十九日ノ御布告ニ「士族卒平民ニ至ル迄自
今僧尼ト相成度者ハ地方官ヘ願出地方官ニ於テ人體取調之上免許可致事」、是

ハ唯今存シテ居ル法律デアル、又辛未ノ四月十八日ノ御布告ニ「自今平民乘
馬被差免候事」トアリマス、又辛未ノ年ノ八月十八日ノ御布告ニ「平民檔高
袴割羽織著用可爲勝手事」、又辛未ノ年ノ八月二十八日ノ御布告、是モ能ク御
聽キ下サイ、「穢多非人ノ稱被廢候條自今身分職業共平民同様タルヘキ事」ト
アル、初二平民ニ決マッタコト……明治八年ニ穢多ト何トカラ平民同様ニト
カ云フ決シテソナナコトハナイ、又辛未ノ十月十三日ニ平民回國修業ノ事ガ
御差止ニナッテ居ル、私ハ茲ニ案ヲ持ッテ居リマスケレドモ一々申上ゲマセ
ヌガ、平民ノ二字ダケハ申シマス、ソレカラ辛未ノ正月ノ御布告ニ「今般御
改正ニ付宮華族家來三代以下ノ者復籍送方竝ニ士族卒平民拜借傭入等願案自
今左之通被定候條各管轄府藩縣ヘ可願出事」トアル、是モ煩ヲ避ケテ「平民」
ノ二字ダケヲ申シマス、又四年ノ四月二十三日ノ御布告ニ「脱籍無產ノ輩復
籍ノ御規則昨午年九月被相定候處別紙ノ通更ニ被仰出候條各地方官ニ於テ右
御規則ニ隨ヒ送受方可取計候事」トアッテ其別紙第七條デ「士卒平民其外共
脱走ノ者有之節ハ早速其筋ヘ願出其親戚組合等ニテ精々探索致シ六ヶ月毎ニ
模様申立三十六ヶ月ヲ過尋得不得不申候ハハ永尋申付除藉致シ候儀ハ不相成候
事」トアリマス、又四年ノ四月二十四日ノ御布告デゴイス、「今般府藩縣一
般戶籍ノ法別紙ノ通改正被仰出候條管内普ク布告致シ可申事」其第一則ニ「此
度編製ノ法臣民一般(華族士族卒祠官僧侶平民迄ヲ云以下准之)其住居ノ地ニ
就テ之ヲ收メ專ラ遺スナキヲ旨トス」ソレカラ其ノ戶籍法ノ第八則ニ「各地
方實屬或ハ平民等事故アリテ全戶他ノ管轄所ニ引移ルモノハ其由ヲ本實管轄
廳ヘ願出其廳ヨリノ送りヲ取リ在留地ノ廳ニ届ケ出其所ノ籍ニ編入スヘシ」
斯ウ云フコトニナッテ居リマス、是ハ即チ雛形ニ何縣華族、士族、何縣實屬、
何縣管下平民ト云フノデ、實屬ト管下ト云フコトガアッタノデス、ソレヲ五
年後チ八年ニ除イタ、其布告ハ御覽ノ通りデアリマス、辛未八月二十三日
ニハ「華族ヨリ平民ニ至ル迄互ニ婚姻差許候條雙方願ニ不及其時々戶長ヘ可
届出事」此戶長ト云フノハ戶籍吏ト改マッテ唯今存シテ居リマス、ソレカラ
辛未六月ノ二十二日ニハ訴訟准判規程ガ出來テ居ル、其第二條ニ「凡訴訟士
族卒ハ支配頭平民ハ名主年寄等ノ與印ヲ押スヘシ其與印ナキハ之ヲ准理スヘ
カラス」ト云フコトガ出來タ、ソレカラ明治七年七月十日ニ至ッテ太政官布
告七十三號「自今華士族分家ノ者ハ平民籍ニ編入候條此旨布告候事」ト云フノ
ガアリマス、ソコデ隨分御若イ御方ハ平民ノ二字ハ三浦サンノ御陳述ニ依リ

マシテ八年ニ初メテ布告ニ依ッテ定マツタト思召スデアラウケレドモ、マル
デ大間違、ソレカラ八年マデハ稱號ガ無カッタト始終御陳述モアリマシタガ、
是ハ速記ニモアリマスカラ一々讀上ゲマセケレドモ、全體間違ヒ極ハマッ
タモノデ今申上ゲマス通り戸籍法ハ四年ニ定マツテ平民ハ族稱デゴザイマ
ス、一ツノ……ソレデ三浦サンヲ私ハ攻撃申スノデハゴザイマセケレドモ、
隨分古イ年デ文政十二年ニ御生レデゴザイマスシ、隨分古ク、隨分長イ御在
勤デアッタカラ大體ノ政府ノ規則ハ御承知デアラウト思ッテ居ッタデス、然
ルトコロ驚入リマシタ、平民ト云フコトハ八年ニ初メテ始マツタト云フノハ
ドダイ間違ッテ居リマス、初メノ程ハ三浦サンガ御忘レニナッタカ、三浦サ
ンハ明治元年頃ハ御在勤デ無イヤウニアル、明治六年ニ大藏省ノ六等出仕デ
初メテ御出掛ケデアリマシタカラ、或ハ前ノ事ハ御承知ガ無カッタノデアラ
ウト思ヒマス、御老人デ御忘レニナッタノデハアルマイ、ソコデ明治八年ニ
此法律ノ布カレテアルノハ謂ハユル申上ゲタ通り「人民署名肩書ノ儀自今」是
マデ有ッタノヲヤメテ「自今貫屬或ハ管下ノ文字ヲ除キ何府縣華族士族平民
ト記載可致」ト云フコトニナツテ居ルコトハ明カデアルノデス、ドウモ此文
面ヲ御承知ナイノカ、解釋ヲ御違ヒニナルノカ、私ハ驚入リマス、何モ人身
攻撃ハシマセスガ、非常ニ私ハ委員會デモ御注意モ頂戴スルシ、御メダマモ
頂戴イタシマシタガ、無學文官ノ譯ノ分ラヌト云フヤウナコトヲ仰シヤル、
又無學デカラ大ニ學問ヲセイト云フヤウナコトデシタガ、私ハ議院法九十三
條ニ依ッテ決シテ諸君ニ之ヲ訴ヘルト云フノデハ無イカラ三浦サンモ御安心
ヲ下サレテ宜シイ、固ヨリ私ハ無學文官ニ違ヒナイガ、大學者大先生御老
人ノ三浦先生デアッタラコンナ解釋ハ御分リニナリサウナモノダ、ドウシタ
モノダラウ、昨年モ之ヲ御建議ニナツタ、御建議ニナツタトキニ昨年モ私ハ
此演壇ヲ汚シタノデアリマスガ、ドウモ建議案デ法律ヲ破ルコトハ出來マス
マイ、少ナクモ法律案ニナツテ來ナケレバ議スル値モアルマイト云フコトヲ昨
年申上ゲタノデ、ソレデ本年ハ法律案ニ變ハツテ來タニ違ヒナイノデアアル、
サウシテ人民ガ自ラ平民ト云フコトヲ書キサヘシナケレバ宜イ、人民ニ無用
ノ手數ヲ費ヤサセル「人民ニ強ユルニ無益ノ煩累ヲ以テス」ト斯ウ云フノデス
ケレドモ、コンナコトガ煩累ト言ハレルカ言ハレヌカ、御考ニナツタッテ分
リサウナモノダ、平民ノ二字ヲ書クトシタ所ガ、ドウデゴザイマセウカ、平
民ノ二字ヲ書イタ所ガ願面、屈面等ニ書クノハ餘リ大キイ字デナイカラ私ハ

恐ラクハ「セコンド」ニ一字ハ確カニ書ケル、二字書ケルカモ知レナイ、幾
ラ丁寧ニ書ク人デモ一分間ニ「平民」ノ二字ハ書ケル、十人アッテ十ノ願書ガ
出ルガ一人ガ平民ヲ幾ツモ書クモノデハナイ、シカモソレハ「ミニニユート」
ニ書ケル、「ミニニユート」ニ書カシタ所ガ之ヲ以テ無益ノ煩累ヲ以テスルト
云フコトハ言ハレヌト思フ、大變ニ理由書ハ事實ニ齟齬シテ居ル、仰山ニ形
容シテアル、實ニ驚入ル、「人民ニ強ユルニ無益ノ煩累ヲ以テス」ト言ハレル
ケレドモ平民ノ二字ヲ書クダケデアッテ甚ダ事實ニ違ッテ居ル理由ト思フ、
「分リマシタ」ト呼フ者アリ「暫クドウゾ御待チ下サイ、委員會デハ否決ニナ
リマシタケレドモ、三浦サンノ御精神ハナカ／＼ヒドイモノデゴザイマス
シ、御賛成ノ名前ヲ拜見シマス、ナカ／＼皆有力ナ御方デアリマスカラ、萬
一コレガ可決シタト云フト大ゴトデゴザイマス、此法律ガ可決シマシタラ、
ドウデゴザイマセウカ、第一、戸籍法ナドハ大法律デアアルガ、其中デ戸籍法
デモ身分登記ニ關スルコトガ第七條カラ第十四條マデニアル、又身分其他出
生等ニ關スルモノガ四十二條カラ百十三條マデアアル、ソレカラ百十九條、百
二十三條、百二十五條、百四十條、百四十二條、百六十五條、百六十六條、
百七十六條、百九十八條、百九十九條、戸籍法ノ殆ド皆ヲ改正セヌケレバナ
ラス、其他御承知ノ通り民事訴訟法、刑事訴訟法、刑法、陸軍治罪法、海軍
治罪法、行政裁判所法、衆議院議員選舉法、ト云フヤウナ法律カラ行ッテモ
平民ガ無クナツタ以上ハ此大法律ノ改正ニ途方モナイ時間ヲ費ヤス、途方モ
ナイ手數ヲ掛ケルノデアアル、僅ニ「セコンド」ニ平民ノ二字ヲ書クノ煩累
トシテ斯ウ云フ法律ヲ更ヘルニハ一年モ二年モ掛ルコトデアアルガ、サウ云フ
コトガ出來ルモノデアアルカ無イカ、御考ヲ願ヒタイ、又規則ニシテモサウダ、
私ノ數ヘタノハ先ヅ公證人規則、判事檢事登用試験規則、辯護士名簿登錄規
則、辯護士試験規則、質屋取締規則、醫師法施行規則、齒科醫師法施行規則、
古物商取締法規則、陸軍召集規則若クハ陸軍中央幼年學校規則、陸地測量部
修技所生徒募集規則、ト云フヤウナモノデ、皆讀メバ大變ナ話デアリマス、
其外殆ド數ヘテ見レバ五十五ホドモアル、ソコデ外國旅券規則、移民保護法
施行細則ト云フヤウナモノニナツテ來レバ、之ヲ改メルノハ非常ナ煩勞デア
ルガ、此法律ヲ改正シヤウト云フ趣意ハ僅カ「セコンド」ニ書ケル平民ノ二
字ヲ書カナイト云フマデアアル、其「セコンド」ニ書ケル平民ノ二字ヲ書ク
ノ手數ヂヤトカ面倒ナト云フダケノ趣意デアアル、其爲ニ此日本帝國ニ有リ

トアラユル法律規則ヲ皆改正セネバナラヌト云フコトニナルガ、平民ノ二字ヲ書クノガソレホド面倒デアラウカ、誠ニ其何ヤラ變ナ言ヒ方デゴンスガ「セコンド」ニ書ケル平民ノ二字ヲ書クノガ煩索アル云フコトデアルケレドモ、斯ウ云フ間違ッタ理由ヲ以テ貴族院ニ通過ヲ強フルノハ是モ煩勞デハアリマスマイカ、今年通過シナカッタラ又來年出ルカモ知レヌケレドモ、篤ト先ヅ法律ヲ御覽ニナルヤウニ提出者ニ御忠告ヲ致シマス、委員會デハ御メダマヲ頂戴イタシマシタ、又忠告モ頂戴シタノハ宜シウゴザイマスガ、幾ラ御老人デモデヤ、法律ノ文章ニ關係ノアルコトガ御分リニナラヌヤウデハ、ドンナ御メダマヲ頂戴シテモ、御忠告ヲ頂戴シテモ、ドウシテモ服從スルコトハ出來ナイ、文政十二年ノ御生レト云ヘバ御年ハ餘ホド違ヒマスガ、自分勝手ニ法律案ヲ書イテ、サウシテ其説明ガ法律案ト同一ニナラヌヤウデアッテハ服從スルコトハ出來ナイ、若シ法律案ニ就イテ質問ニ會ウタラ十分主任トナツテ御ヤリニナリ、又辯明ヲシテ下サレバ宜シウゴザイマスガ、御自分ノ御辯明ト法律案ニ書イテアル所ト餘ホド違ヒガアルカト思ハレル、又法律ノ引キ方ニシテモ、明治八年ニ初メテ平民ノ稱ガ出來タヤウニ言ハレマスガ、ソナナコトガアルモノカ、是ハ昔カラノ法律ヲ御覽ニナレバ明カナモノデアラウト思フ、斯ノ如クニシテ若イ御方ナドハ或ハ明治元年カラ十年マデ位ノコトヨリ御承知ガアリマセヌカト思ヒマスガ、私ハ前ニ申シマシタ多數ノ法律ヲ暗識シテモ居ナイシ、又ソレダケノモノヲ一々茲デ讀ンデハ大變ダカラ長クハ申シマセヌガ、若シモ此法律案ガ成立ツトシタナラバ大ニ腹案ヲ有ッテ居リマスルケレドモ、恐ラク此議場デハ成立ツマイト思ヒマス、併シ成立ツトスレバ又大ニ論ジナケレバナリマセヌ、先刻委員長ガ何カ此國ノ組織ニ適ハナイト云フヤウナコトヲ申サレタヤウデアリマスガ、固ヨリ此法律案ハ大變ニ國ノ組織ニ關係スルモノデアアル、此日本國ト云フモノハ、君民ト云フモノハ諸君ノ御承知ノ通りニデヤ、外國ノ支那ノヤウナ、歐羅巴ノヤウナ武力ヲ以テ強ヒテ武力デ壓制シテ、人民ノ方ハ力ガ及バヌ爲ニ服從シテ居ルノデ、言ハバ野合ノ君民デアアル、ツマリ其王トナッタリ帝トナッタ者ハ武力ヲ以テ人民ヲ壓制シタノデアアル、サウシテ其武力ヲ以テ王トナッタリ帝トナッタ者ハ何所ノ血統ノ者カ譯ガ分ラヌ、人民ノ方モ其君ノ何者タルコトヲ知ラヌ、君民ノ間デアリナガラ馬ノ骨カラ出タモノカ、牛ノ骨カラ出タモノカ更ニ分ラヌ、畢竟ホン出來アヒノ一時的ノ君民デアアル、所ガ日本ノ君民ト云フモノ

ハ是ハ能ク諸君モ御承知ノコト、思ヒマスガ、神代ノコトハ私ハ無學者ダカラ三浦サンニ向ッテ講釋ヲスルノデアアリマセヌケレドモ、是ハ三浦サン自ラ御考ヘニナルガ宜カラウト思ヒマス、謂ハユル皇族ガ臣族ト分レ、ソレカラ臣族カラ民族ニ分レテ遂ニ平民ガ出來タト云フモノハ餘ホド古イコトデアアル、其上日本デハ平民ヲ見ルコト西洋ノヤウニ奴僕視セラレテハ居ラヌ、是ハ古來ノ歴史ヲ能ク御覽ナサイ、誠ニ古來ノ歴史ハ民ヲ憂ヘルコトバカリデアアル、例ヘバ此民ヲ憂フルノハ支那カラ習ウタモノデハナイ、其習ウタモノデナイコトハ、仁德天皇ガ攝津ノ國ニ都セラレタ時分ニ人民ガ貧乏デアッテ一向民ノ竈カラ煙ノ立タヌノヲ御覽ニナッテ、サウシテ三年ノ間公納ヲ免ゼラレ、サウシテ其御言葉ニ民ノ富ハ朕ノ富ナリ、民ノ貧ハ朕ノ貧ナリト云フコトガアル、彼ノ「高き屋に登リて見れば煙たつ民の竈は賑ひにけり」斯ウ云フ譯デ、決シテ何モ支那カラ教ヘラレタノデハナイ、應神天皇ノ時ニ支那カラ初メテ書物ガ這入ッタノデアリマスガ、歴史ヲ見ルト水災、震災、悉クサウ云フトキニハ租稅ヲ復シ、或ハ其甚シキ時ハ三年間租稅ヲ廢メラレタコトモアル、賴朝以後ハ暫ク武家ノ世ノ中ニナリマシタガ、此王政復古ニナツテカラ以來、水災ナリ、火災ナリ、震災ナリ、大海嘯ナリ、サウ云フ災害ノアッタトキニハ必ズ地方官ニ命令シテ其情況ヲ視察サセ、或ハ又侍從ヲ遣ハサレテ御手許金何千圓、何百圓ト云フモノヲ始終御惠ミニナッテ居ル、斯ウ云フ君民ト云フモノハ決シテ外國ニハ無イ、ソレ故ニ平民ト書クノガ面倒ダカラ廢メルト云フヤウナコトハ大變ナ間違ヒデアアル、是ハ果シテ可決ニナルベキモノデハナイガ、若シ可決ニナルモノトスレバ私ハ大ニ腹案ヲ有ッテ居リマスルケレドモ、餘リ立チサウニモ思ヒマセヌカラ是デ止メマス

〔三浦安君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 三浦君ハ御發言デゴザイマスカ

○三浦安君 ハイ

〔三浦安君演壇ニ登ル〕

○三浦安君 本案ニ就キマシテハ徳川委員長ヨリノ御陳述モゴザリマシタ、其アトニ唯今關君ガ長ト御辯解ノゴザイマシタ中ニ、三浦ハ自分ガ法案ノ解釋ガ間違ウテ居ルノハ誠ニ……マア言葉ヲ丁寧ニハナサレタガ、マルデ三浦ハ老耄シテ譯ガ分ラヌノデアアル、其御説トホカ聽エマセヌ、ガ是ハ私ノ初メノ了簡ハドウゾ人民ガ自ラ書クコトヲ廢メラレバ自然ニ善クナルダラウト思

ヒマシタノガ、昨年建議案ノ節ニ種々御論ガアリマシテ、コレハ否決ニナリマシタガ、當年ハ法律案ニナリマセヌト他ノ戶籍法ハジメニ響キガゴザイマスルデ法律案デ之ヲ取消スヤウニセネバナヌト思ヒマシタノデ法律案ニシマシタノデ、併ナガラ平民ノ稱ヲ取消スト云フヤウナコト、昨年ノ建議案ノヤウナコトヲ云ハズトモ法律決メレバ自然ニ消エルコトハ消エヤウ、併シ書カンナラヌ場合ニハ官府デ書クノハ強ヒテ何モ差支モアリマスマイ、斯ウ思ヒマシタカラ其ナリ陳述ヲ致シマシテ御質問ニモ其通りニ答ヘマシタ、所ガ委員會ニナリマシタ所デ政府委員ガ言ヒマスルニ、ドウモ此法律案デハ一般ニ平民ト云フ稱ガ何所ニモ此所ニモ皆消エテ仕舞フコトニナル、依ッテ之ヲ取消スノデハナイ書カネバ宜イト云フ風ナコトナラバモウ一ツ此法案ヲ修正セズンバイカヌト云フ、斯ウ云フ忠告同様ナ言モアリマシタ、其内ニ段々時刻モ經チマシテ遂ニ後日ニナルト云フコトニナリマシタカラ、後日マデニ修正案ヲ考ヘマセウト言ッテ別レタ位デアリマス、授ソレカラ其通りノ修正ニシヤウト存ジテ色々勘考イタシマシタケレドモ、ムヅカシイコトデアリマシテ修正ガ出來ニクウゴザイマス、依ッテ自分ノ本意ノ通り取消ガ濟ンデ、平民ノ稱ガ消エテ仕舞ウテモ勿論書カズニ濟ムナラ尙更ノコトデゴザイマスカラ、寧ン政府委員ノ解釋ノ通り此法案ノ通りデ前ノ解釋ハ餘リ細カク涉リマシテ間違ガ生ジマシタカラ、即チ委員席デ之ヲ委員ノ修正ノ積リデ前ノ陳述ハ取消シマシテ、即チ此法案ノ通り官府モ何モ、何所モカモ平民ト云フコトハ書カヌト云フコトヲ修正セズニ此通りデ經過スルヤウニシテ下サイト、斯ウ委員會デ申シマシタノデアリマス、所ガソレヨリ他ノ論ガ段々出マシテ唯今、關委員ノ申サレタ所ノヤウニ、追々論ガ激シウナリマシタ、デ是ハ全ク本員ノ初メノ思ハク違ヒハ粗勿ヲ謝スルヨリ仕方ガゴザイマセヌガ、併シ此初メ此法案デサウナルト思ッテ居ッタ、然ルニ政府委員ノ委員席ノ說デ大キニ悔悟シマシテ、ソレナラバモウ委員席デ之ヲ修正シタ積リニ之ヲ取消シマセウト、斯ウ申シマシタノデ、其粗漏ハ謹ンデ諸君ニ謝シマスル、授ソレカラシテ平民ノ稱ヲ書クト云フコトハ明治八年カラト三浦君ハ言フガ其前カラ段々アルト、ソレハモウ勿論アリマスノデ、明治ノ初年カラズット平民ト云フコトハ言ウテ居リマス、或ハ婚姻ヲ許ストカ、或ハ苗字ヲ許ストカ云フコトデ屢々政府カラ平民ト云フコトハ言ウテアリマス、言ッテアリマスガ是ハ見タ所ヲ以テ一般ニ合セテ平民ト言ヒマシタノデ、華族士族ニ合セテ平民

ト言ヒマシタノデ、決シテ之ヲ族稱トシテ書ケト云フコトハ無イノデアリマス、政府カラ物ヲ言フノニ穢多非人ノ稱ヲ廢シテ平民ト同様ニスルトカ、平民ト華族其他ト婚姻シテ宜シイトカ云フノハ稱號ヲ決メテ族稱ニシタノデハナイ、事柄ニ依ッテ華族士族ニ對シテ平民ト云フコトヲ出シタノデ、ソレガ辦ニナッテ平民ヲ通稱ノヤウニ思フヤウニナリマシタト見エマシテ、明治八年ニ管轄ヲ變ヘルノミナラズ、記載スベシ、華族士族平民ト記載スベシト言ヒマシタノデ、ソレカラ後ハ愈々書カンナラヌモノニナリマシタ、ソレカラ後ノ法律ニモ是カラ起ッテ段々戶籍ハジメ色々書キマシタノデ、ソレヨリ以前ノ村役場ヘ出マシタ人民カラノ書付ヲ二三箇所調ベテ見マシタガ、決シテ平民トハ書イテゴザイマセヌ、何村何某ト書イテアルバカリデ、何村ノ平民トハ書イテゴザイマセヌ、デ此明治八年ノ平民ト記載スベシト云フコトカラ起ッテ、肩書ノ平民ト云フコトガ落チテ居レバ、村役場カラ呼出シテ平民ガ落チテ居ルカラ族稱ヲ書ケト云フコトヲ言ヒ出シマシタノデ、決シテ明治八年ノヲ以テ始メテ平民ノ呼聲ガ起ッタト云フノデアリマセヌ、呼聲ハ其前ニモナンボデモアリマス、ケレドモ肩書ニ記載セネバナラヌト云フノハ明治八年ニ始マリマシタ、初メテ此時ニ平民ノ呼聲ガ起ッタト云フノデアリマセヌ、書付ニ書クコトニナッテカラ自然族稱ノヤウニ決マリマシタケレドモ、族稱ト云フモノハ重イモノデアリマシテ、華族ハ華族ト書スベシ、士族ハ士族ト書スベシト云フコトハ、チャント官府カラ出テ居リマス、平民ハ平民ト書スベシト云フコトハ、是ハ言ッテハゴザイマセヌ、タ、時ノ都合ノ呼聲デ華族士族平民ト言ウタノハ、上カラ呼聲ニ言ウタバカリデ平民ヲ族稱ト決メタト云フコトハ一遍モゴザイマセヌ、シテ見ルト明治八年ノカラ決マッタト云フコトハ始メテ言ヘマスノデアリマス、ソレマデハ平民平民ト言ヒナガラモ強ヒテ是ハ書カンナラヌト云フコトハ無カッタノデアリマス、或ル村役場ヲ調ベマシテモサウデ、決シテ平民トハ書イテゴザイマセヌ、明治八年ノカラ平民ノ稱ガ無イト直チニ書加ヘサスト云フコトニナリマシタ、コレハコレデ御分リ下サツラウト思ヒマス、タ、國體上カラシテ、關君ハ頻ニ平民ノ字ハ秩序上、之ヲ除ケルト云フト秩序ガ紊レルト云フヤウナ御說ガ前以テカラ頻リト御說ガアリマスガ、是ハ間違デゴザイマス、抑、日本開國以來一般ノ人民ニ稱號ヲ付ケタト云フコトハ一遍モゴザイマセヌ、武家時代ナドニハ何トカ付ケタコトモアルカ知レマセヌガ、人民一般ニ或ハ平民ト言ヘトカ或

ハ百姓ト言ヘトカ何トカ云フヤウナ稱號ヲ一定シタト云フヤウナコトハゴザイマセヌ、自ラ位階爵祿ガアツテ位階爵祿ヲ尊卑ノ差別ガ分リマスノデ、位階爵祿ニ依ラズニタマ平民ト云フコトヲ以テ差別ヲ付ケルト云フコトハ一遍モゴザイマセヌ、ヒドク關君ガ御辯ジニナリマシタケレドモ、ソレハ今日、平民ト云フ稱ガアルノヲ以テ説ヲ爲スノデ、明治八年ニ決マリノ付クマデ平民ノ稱ハ開國以來ゴザイマセヌ、武家政治ナドノ時ハ國ニ依ツテ或ハ平民ト言ウタリ百姓ト言ウタリ町人ト言ウタリシマスケレドモ、是ハ皆都合ニ依ツテ言ヒマシタノデ一般ノ族稱ト決メテ言ウタノデヤゴザイマセヌ、族稱ラシク決マツタノハ御維新以後ノ言ヒ來リカラ、ヒヨットソレガ癖ニナツテ族稱ラシクナリマシタノデ、ソレユエ是ハ無駄ナコトヲ要リモセヌコトデアアル、ソレノミナラズ要リモセヌコトニ手數ヲ費ヤシマスル、既ニ私ガ或ル者ノ請願書ヲ取次ギマシタ所ガ、族稱ガ落チテ居ルト云フノデ直チニ書直シヲ言ヒ付ケンナラヌヤウニナリマシタ、何カニ付ケテ手數ガ多イト云フコトハ人民デ免レスコトデ、ソレモ用ニ立ツコトナラバ宜シウゴザイマスガ、平民ト云フコトハ言ハヌダツテ、言ハズトモ平民ト云フコトハ分ツテ居リマス、華族士族其他ハモウ何ト云ヒマセウガ、名ガ無クトモ宜シイ、ソレヲ無理ニ平民ヲ付ケルト云フコトハ明治八年ノカラ間違ヒ來ツタノデアリマス、之ヲ御考ヘ下サツタラバ強ヒテ是ハ私ガ事ヲ好ンデ此案ヲ出シタノデゴザイマセヌ、昨年ハ建議案デアリマシタガ故ニ其方法ハ政府ニ任カセル積リデアリマシタガ故ニ、斯ウスル、ア、スルト云フコトハ一向申シマセヌデシタガ、段々ノ御論上カラ色々ナ説モ出マシタケレドモ、決シテ昨年ノニハ方法ハゴザイマセヌ、ソレカラ後、段々研究シマシタ所ガ、ドウモ建議案デハ緩カデイツ行ハレルカ分ラヌト云フノデ、段々寄合ツテ研究シマシタラ、法律案ガ宜カラウト云フコトデ本年ハ法律案ニシマシタガ、法律案デモ緩カニシテ平民ノ稱ヲ取消スト云フコトヲ言ハズニ自然ニ消エルモノト思ヒマシタカラ、平民ノ稱ヲ態ト取消スト云フノデハナイト御答ラシタコトガアリマシタガ、先刻申シマス通り解釋上カラ見マス、是デハ一般ニ官私共ニ廢スルヤウニナルカラ、ソレナラバ却ツテ我輩ノ本意デアルト斯ウ思ヒマシタカラ其方ニ解釋ヲ修正シマシテ一般ニ平民ト云フコトハ書カイデ宜イ、モウ消エテ仕舞フ、斯ウ云フコトニ此法律案ノ通りノ解釋ヲ仕直シマシタノデアリマスカラ、ソコヲ御恕察クダスツテ、ドウゾ此無用ナコトガ省ケテ手數ノ減リマスコトヲ御賛成

ヲ願ヒマス、マア此上尙ホ如何ホドモ申スベキコトガアリマスガ、關君ノ御陳述ニ對シテハ餘計アリマスガ、モウ時刻モ移リマスシ、大概皆サンモ御分リ下サルデアラウト存ジマスルカラ是デ措キマス

〔子爵谷干城君〕討論終結ノ動議ヲ提出ス〔ト述フ〕

〔子爵會我祐準君〕質問ヲ……〔ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 尾崎男爵

〔男爵尾崎三良君演壇ニ登ル〕

○男爵尾崎三良君 諸君モ御退屈デゴザイマセウカラ多クハ述べマセヌガ、タツタ二三分御猶豫ヲ願ヒマス

〔子爵谷干城君〕短ク願ヒマス〔ト述フ〕

併ナガラ討論終局ガ出ルト長イカモ知レマセヌ、私ハ一體此三浦君ノ精神ニハ賛成スル、然ルニ殘念ナガラ此案ニハ同意ガ出來兼ネル

〔子爵會我祐準君〕同感〔ト述フ〕

此趣意ヲ一言申述べテ諸君ノ御熟考ヲ煩ハシタイト思ヒマス、一體先刻、關君ヨリ反對ノ演説ガ滔々ト、殆ドマア大演説ノ如キ演説ガアリマシテ、謂ハユル大山鳴動鼠一匹ト云フ位ナ比較ナモノデアラウト思ヒマスガ、ソレナニ大層言フ程ノモノデハナイト考ヘマスル、サリナガラ此華族平民ト云フ言葉ハ維新後ノコトデアツテ、最モ之ヲ明カニ決メタノハ廢藩置縣ノ制度ノ變革カラ來タモノト本員ハ考ヘテ居リマス、尤モ此維新前ニ於キマシテハ華族ト云ヘバ公卿ノ家柄ニ依ツテ華族ト稱シタモノガ九軒アツタキリデ、他ニハサウ云フモノハ無カッタ、即チ五攝家ト云ウテ攝家ト云フ中ニ一番……門閥ガ五軒アリマシタノガ之ヲ五攝家ト申シ、其次ニ門閥ガ九軒アリマシタノヲ華族ト稱シ、其外ニ華族ト云フモノハ無カッタ、然ルニ廢藩置縣デ此大名ト公卿トヲ合セテ一種特別ナモノニ取扱ハナケレバナラヌト云フカラ、之ヲ美ナ稱號ヲ與ヘテ華族トシ、ソレカラ其以下ノ武士トカ「サムライ」トカ稱シタモノヲ士族トシタノデアアル、之ニ對シテ平民ト云フモノガ出來テ來タト云フヤウナ話、是ハ時ニ取ツテノ制度ノ變革上、或ハ必要デアツラウト思ヒマスルガ、實ハ今日ハサウ云フ必要ハ無イノデアアル、私ハモウ一步進ンデ華族士族ト云フコトモ書クニ及バヌトシタイト思ヒマス、イマ關君ガ階級制度ト云フモノハ、我國ニ於テハ大事ナモノデアアルカラ、之ヲ廢シテハ大變デ、國ガ亡ビルト云フ位ナ御演説デアリマシタガ、維新前ト雖モ階級ノ制度ハ嚴重

ニ立ッテ居リマシタガ、決シテソシナ「ヤカラ」ト云フヤウナモノハ無カッタ、大名ト云フモノガアリ、公卿ト云フモノガアリ、武士ト云フモノモアリマシタ、ケレドモ決シテ肩書ニ大名ト書キハ致シマセヌ、大名松平越中守トハ書キハシナイ、又公卿柳原大納言トモ書キハシナイ、タ、柳原大納言ト書イテモ、ハア御公卿サンデヤ、松平越中守ト言ヘバ是ハ越前ノ大名ダト、斯ウ云フ譯ナンドス、成ルホド大名ニモ極ク小サイ一万石二万石クラキノモノニ至ッテハ殆ド名ガ分ラヌヤウナ大名モアリマスガ、併シソレモ知ッテ居ル人ハ知ッテ居タ、又「サムラヒ」ニシマシテモ士族ト言ヒハシナイ、何某、或ハ姓ヲ付ケテ名乗ヲ付ケルト云フノハ「サムラヒ」ノ習俗デアリマスケレドモ、ソレ故ニ決シテサウ云フ公文書ニセヨ何ニシヤウガ士族トカ平民トカ大名トカ書キハシナイ、所ガ廢藩置縣ノ制度カラ一時ノ便宜上ア、云フモノヲ拵ヘテ、ソレガ今日ニ因襲シテ來ッテ居ルノデアリマスルガ、最早今日ハ必要ハ無イ、私ハタゞ平民ト云フコトヲ書クニ及バズ「華族士族ニ限リ」ト斯ウ書クト華族士族ト云フコトハ必ズ書カナケレバナラヌコトニナッテ、甚ダ面白クナイト思ヒマスルガ、之ヲ改メルナラ實ハ華族ト云フコトモ、士族ト云フコトモ、平民ト云フコトモ、何モ書クニ及バズ、斯ウシタイト思フ、タゞ爵ノアル人トカ位階ノアル人ハソレハ必要ナ場合ハ爵モ書クガ宜シイ、位階モ書クガ宜シイ、又平民デモ位階ノズツト進ンデ居ル人モアリマスカラ、必要ナ場合ニハサウ云フ朝廷カラ貰ッタ爵位ハ書クガ宜シイ、ソレモ平常必要ノナイ時ニハ書クニ及バナイ、依ッテハ族稱トカ云フコトハ、モウ今日必要ハナイト思ヒマスルカラ、私ハドウカ此案ヲ修正シテ、今述ベタヤウナ華族士族モ書クニ及バズト云フヤウナ工合ニ修正シタイト思ヒマスルケレドモ、即席ニ今單純ニ此所デ修正說ヲ出シテ見タ所ガ、種々ナ法律ヤ規則ニ關係シテ不十分ナモノガ出來ルカモ知レマセヌデ、ドウカ是ハ今期ノ議會ニハ迎モ間ニ合ヒマスマイカラ、篤ト御熟考アツテ、此次ノ議會ニデモ法案トシテ出ルコトヲ希望イタシマスルニ依ッテ、残念ナガラ此案ニハ不賛成ヲ致シマスルノデゴザイマス

○三浦安君 此御決議ハドウゾ記名投票ニ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 私ハ意見ヲ述ベタウゴザイマス、此席カラ……短カウゴザイマスルカラ……

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 私ハ此案ニ付イテ疑ッテ居ッタノハ、平民ハ族稱ナルヤ否ヤト云フコトガ一番ノ疑ヒダ、ソレ故ニ先刻委員長ニ御尋ネヲシヤウトシマシタ所ガ質問ノ時機ヲ得マセヌカラ、今委員長ノ御手控ヲ拜見シマス、明カニ政府ハ之ヲ族稱ナリト答ヘテ居ル、果シテ平民ガ族稱ナラバ、族稱ナドハ法律ガ勝手ニ定メルモノデゴザイマス、華族ハ一人デモ法律デ作ッタ華族ガアリマス、是ハ 天皇陛下ノ思召デアアル、果シテ是ガ族稱ナラバ法律ノ制限ヲ受クベキモノデナイト思フデ、斷然反對イタシマス

〔子爵谷干城君「討論終結」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 三浦君ノ記名投票ノ要求ニハ成規ノ賛成者ガ無イ以上ハ此要求ハ成立シナイト議長ハ考ヘマス、他ニ發言者ガナイト認メマスカラ討論ハ自然ニ終局ヲ告ゲタモノト議長ハ考ヘマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 三浦君ノ案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 ……

○議長(公爵徳川家達君) 聊カ不明瞭デアリマスカラ、暫ク御著席ヲ請ヒマシテ、反對ノ諸君ノ御起立ヲ請ヒマス

起立者 ……

○議長(公爵徳川家達君) 未ダ不明瞭デアリマスカラ、議長ハ必要ト認メマシテ記名投票ヲ以テ採決ヲ致シマス、諸君ニ申シマスガ、本日モ先日ノ通り記名投票ヲ受取ル爲ニ書記官ヲ御席ヘ出シマスカラ、御渡シヲ願ヒマス、ソレカラ念ノ爲ニ申上ゲマスガ、記名投票デゴザイマスカラ御名刺ハ御渡シニハ及ビマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ念ノ爲ニ申上ゲマスガ、二讀會ニ移スベシトスル諸君ハ白色票ヲ、反對ノ諸君ハ青色票ヲ御投入ヲ請ヒマス

〔書記官投票ヲ集ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 御投票漏レガゴザイマスナラバ、御申出ヲ請ヒマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ申上ゲマス、投票總數百八十六、二讀會ヲ開クベシトスル者、即チ白色票ヲ投ジタル者八十二、二讀會ヲ開ク

ベカラズトスル者、即チ青色票ヲ投ジタル者百四、故ニ本案ハ否決セラレマ
シタ

〔参照〕

賛成者氏名

子爵實吉 安純君	宮本 小一君	男爵松平 正直君
男爵北畠 治房君	三浦 安君	男爵相浦 紀道君
男爵前島 密君	淺田 德則君	男爵船越 衛君
男爵園田 安賢君	前田 正名君	平山 成信君
男爵茨木 惟昭君	男爵伊達 宗敦君	男爵野田 豁通君
男爵四條 隆平君	男爵石黒 忠恵君	德久 恆範君
男爵久保田 讓君	男爵波多野 敬直君	山縣 伊三郎君
男爵沖 守固君	江木 千之君	男爵中川 興長君
男爵藤枝 雅之君	男爵小野 尊光君	男爵金子 有卿君
男爵田 健治郎君	男爵武井 守正君	男爵南 光利君
男爵新田 忠純君	男爵南岩倉 具威君	男爵平野 長祥君
男爵高崎 安彦君	男爵辻 健介君	男爵紀 俊秀君
男爵山内 豐政君	男爵吉川 重吉君	男爵小早川 四郎君
男爵青山 元君	男爵毛利 五郎君	男爵藤大路 親春君
男爵伊丹 春雄君	男爵中島 久万吉君	男爵諫早 家崇君
男爵小原 適君	男爵本多 政以君	男爵清水 資治君
三宅 秀君	渡 正元君	湯地 定基君
南郷 茂光君	富田 鐵之助君	千坂 高雅君
古市 公威君	鮫島 武之助君	奥山 政敬君
關 清英君	湯地 定監君	仁尾 惟茂君
高木 豐三君	馬屋原 二郎君	磯邊 包義君
安樂 兼道君	下條 正雄君	田島 竹之助君
加藤 正恵君	清瀬 善三君	細谷 巖太郎君
谷 新助君	橋本 雄造君	松村 脩平君
淺野 長太郎君	鎌田 榮吉君	加藤 宇兵衛君
辰巳 檜太郎君	鳥越 貞敏君	久保 市三郎君
道源 權治君	日高 榮三郎君	森 廣三郎君

下郷 傳平君
反對者氏名

公爵二條 基弘君	侯爵黒田 長成君	侯爵細川 護成君
侯爵徳川 頼倫君	侯爵大炊御門幾麿君	侯爵花山院 親家君
伯爵正親町 實正君	伯爵大村 純雄君	伯爵清閑寺 經房君
伯爵徳川 達孝君	伯爵寺島 誠一郎君	伯爵廣澤 金次郎君
伯爵大木 遠吉君	伯爵柳原 義光君	伯爵川村 鐵太郎君
伯爵松平 頼壽君	子爵谷 干城君	子爵渡邊 昇君
男爵榊取 素彦君	子爵鍋島 直彬君	子爵曾我 祐準君
子爵伏原 宣足君	子爵堤 功長君	子爵裏松 良光君
子爵加納 久宜君	子爵山本 實庸君	子爵仙石 政固君
子爵藤井 行徳君	子爵野宮 定毅君	子爵戸田 忠行君
子爵一柳 末徳君	子爵大宮 以季君	子爵内田 正學君
子爵大久保 忠順君	子爵鍋島 直虎君	子爵板倉 勝達君
子爵牧野 貞寧君	子爵鳥居 忠文君	子爵京極 高德君
子爵本莊 壽巨君	子爵松平 康民君	子爵新莊 直陳君
子爵黒田 和志君	子爵關 博直君	子爵本多 忠敬君
子爵毛利 元忠君	子爵梅小路 定行君	子爵三島 彌太郎君
子爵入江 爲守君	子爵松平 直平君	子爵松平 直徳君
子爵青木 信光君	子爵有馬 頼之君	子爵牧野 忠篤君
子爵酒井 忠亮君	子爵永井 尙敏君	子爵本莊 宗義君
子爵伊集院 兼知君	子爵堀河 護麿君	子爵松平 直敬君
子爵松平 忠禎君	子爵細川 立興君	子爵前田 利定君
子爵松平 親信君	子爵水野 直君	男爵辻 新次君
男爵尾崎 三良君	男爵野村 素介君	男爵岡内 重俊君
男爵奈良原 繁君	男爵周布 公平君	長谷部 辰連君
小牧 昌業君	田中 芳男君	村田 保君
田邊 輝實君	男爵關 義臣君	男爵村田 經芳君
山川 健次郎君	男爵眞田 幸世君	男爵長松 篤業君
西村 亮吉君	谷 眞男君	中島 永元君
石黒 五十二君	得能 通昌君	石渡 敏一君

菊池 武夫君 室田 義文君 岡野 敬次郎君
伊澤 修二君 岩村 兼善君 木村 誓太郎君
吉野 周太郎君 絲原 武太郎君 本間 千代吉君
市川 文藏君 澤原 俊雄君 杉下 太郎右衛門君
土居 通博君 桑田 熊藏君 宮崎 喜久太郎君
河田 與惣左衛門君 保阪 潤治君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七、競馬ノ善後策急施ニ關スル請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

意見書案

競馬ノ善後策急施ニ關スル件

兵庫縣武庫郡鳴尾村社團法人關西競馬俱樂部會頭男爵茨木惟昭外

十四名呈出

右ノ請願ハ政府ハ曩ニ馬匹改良ノ最良策トシテ競馬會ノ設立ヲ獎勵シ競馬開催ノ費用ニ充ツヘキ資源トシテ馬券ノ發行ヲ是認シタルヲ以テ人民ハ巨萬ノ資本ヲ投シテ十餘ノ競馬會ヲ組織シ諸般ノ設備ヲ爲シ馬匹改良ノ事漸ク其ノ緒ニ就キタルニ我國人カ未タ競馬ノ經驗ニ乏シキ爲執務者ノ行動宜シキヲ失ヒ馬券ノ購買投機心ニ出テタル等偶種種ノ弊害ヲ生スルニ及ヒテ政府ハ別ニ何等矯正ノ途ニ出ツルコトナク突如馬券發行ノ停止ヲ命シ以テ馬匹改良ノ目的ヲ阻絶セシメ關係者ヲシテ忽チ多大ノ損害ヲ被ルニ至ラシメタルハ不當ノ處置ナルヲ以テ適當ナル善後策ヲ講シ之カ損害ヲ補償セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○三宅秀君 唯今會議ニ付セラレテ居リマス此第七ノ請願ハ、聊カ調査ノ不十分ナ所ヲ發見イタシマシタデゴザイマスカラ、今日ハ此會議ヲ御延期ニナリマシテ再ビ調査ヲ致シタイト存ジマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今、請願委員長ノ再調査ノ爲ニ本日ノ會議ハ延期スルト云フ要求ニ對シテ、別ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○子爵谷干城君 少シ御尋ネラシタイト思ヒマス、ドウ云フ理由デゴザイマセウカ、ソレヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、委員長ノ御答ヲ願ヒマス

○三宅秀君 唯今理由ハ申上ゲタ積リデゴザイマスガ、聊カ調べガ不十分ナ所ガゴザイマスノデ尙ホ調査ヲ遂ゲマスル積リデゴザイマス、ソレ故ニ……

○子爵谷干城君 ソレナラバ最早會期モ切迫ニナッテ居リマスルカラ、御調査ヲドウカ早ク願ヒタイ、右様委員長ヘ請求シテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ要求通り御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第八、利根川水害豫防工事速成ニ關スル請願、會議、第九、酒田新庄間鐵道急設ノ請願、會議、第十、酒造稅法改正ニ關スル請願、會議

意見書案

利根川水害豫防工事速成ニ關スル件

茨城縣北相馬郡布川町平民商玉村源吉外九名呈出

右ノ請願ハ茨城縣北相馬稻敷等ノ諸郡ハ明治二十九年以來屢水害ヲ蒙リ就中四十年八月ノ如キハ利根川ノ水源地方ニ暴風雨アリ兩郡ノ各河川ハ爲ニ相前後シテ漲溢シ殊ニ小貝川ニ沿ヘル豐田堤防ノ破壞シタルヨリ濁水利根川ノ逆流ト合シ下利根川ノ破堤ニ因ル洪水ヲ併セテ霞ケ浦ニ注キ以テ其ノ沿岸稻敷新治行方ノ三郡ニ汎濫シ民人ヲ戕ヒ家屋ヲ浸シ田園ヲ沒スル等慘憺タル災害ヲ見ルニ至レリ爾來請願人等ハ生産ノ業ニ乏シク所有物ヲ典シテ纔ニ衣食ヲ供スルノ悲境ニ在ルヲ以テ水害根治ノ方法タル利根川河身改修工事ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

酒田新庄間鐵道急設ノ件

酒田商業會議所會頭荒木彦助外五名呈出

右ノ請願ハ山形縣新庄ヨリ酒田ニ至ル鐵道ハ既ニ豫定線ト定メラレタルモ之カ敷設ハ奥羽南線ノ利益ヲ増進シ越羽海岸線ノ起工ニ至大ノ便益ヲ與ヘ且宮城縣石ノ卷ヨリ小牛田ヲ經テ山形縣船形ニ達スル豫定線ノ竣工ト相待チテ東西兩洋ヲ連絡シ東北地方ニ於ケル經濟上ノ利源ヲ開發スルノミナラス國防上最緊要ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

酒造稅法改正ニ關スル件

群馬縣群馬郡澁川町群馬縣酒造組合聯合會長狩野定次郎呈出
右ノ請願ハ酒造稅率ノ増加ハ財政計畫上已ムヲ得サルニ出テタリトスルモ由リテ來ルヘキ酒造業ノ衰頹ヲ救済シ併セテ稅源ヲ涵養スル爲酒造稅法ヲ改正シテ酒造稅納期第四期ヲ五月ニ繰下ケ及火入貯藏減トシテ清酒百分ノ五ヲ控除シ之ニ對スル課稅ヲ免除セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 皆請願委員長ノ報告通り採擇シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

貴族院議事速記録第十二號

明治四十二年三月八日

請願會議

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十一、教育基金填補ニ關スル請願、會議、議事日程第十二、阿井郵便局ニ電信局併置ノ請願、會議、議事日程第十三、三等郵便局集配事務開始ノ請願、會議

意見書案

教育基金填補ニ關スル件

帝國教育會長男爵辻新次呈出

右ノ請願ハ教育基金ハ二十七八年戰役ノ記念トシテ償金ノ一部ヲ割キテ設置セラレタルモノニシテ之カ設置ハ大ニ教育者ヲ感奮興起セシメタルノミナラス又其ノ利子ハ年年教育資金トシテ地方ニ配當セラレ有形無形ニ普通教育ノ普及改善ニ貢獻シタルコト多大ナリシニ日露戰役ニ際シ其ノ元資金ハ事件費ニ流用セラレテヨリ普通教育保護獎勵ノ資源ヲ闕クニ至リシノミナラス義務教育年限ノ延長ニ伴ヒ教育資金ノ充實益緊切ヲ加ヘタルカ故ニ速ニ之ヲ填補セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

阿井郵便局ニ電信局併置ノ件

島根縣仁多郡阿井村平民櫻井三郎右衛門外十八名呈出
右ノ請願ハ島根縣仁多郡阿井村ハ郡內西部ノ大邑ニシテ松江ヨリ廣島ニ通スル要路ニ位シ商工ノ取引頗頻繁ニ藝備地方トノ往來甚多シ然ルニ電信局所在地ヲ距ルコト五里餘ニシテ日常ノ不便名狀スヘカラサルヲ以テ速ニ阿井郵便局ニ電信局ヲ併置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

內閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

三等郵便局集配事務開始ノ件

島根縣簸川郡知井宮村長矢野和一郎外二名呈出

右ノ請願ハ島根縣簸川郡古志村ハ水陸交通ノ要衝ニ當リ旅客ノ往來物貨ノ集散夥シク隨テ郵便物ノ數大ニ増加シタルニ拘ラス古志郵便局ニ於テ未タ郵便集配事務ヲ開始セサルハ同地方ノ不利不便トスル所ニシテ且其ノ發達ヲ阻碍スルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 採擇シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十四、清國木蠟ノ輸入稅増率ニ關スル請願、會議、議事日程第十五、關稅定率法中「スチアリン」稅率改正ノ請願、會議、議事日程第十六、「バラフキン、ワックス」及「スチアリン」輸入稅率改正ノ請願、會議

意見書案

清國木蠟ノ輸入稅増率ニ關スル件

福岡縣福岡市藏本町平民木蠟業太田大次郎外一名呈出

右ノ請願ハ支那蠟ハ其ノ品質頗粗惡ナルモ價格ノ低廉ナルカ爲年々輸入ヲ増加シテ純粹ナル日本蠟燭及晒蠟ニ混用セラルルニ至リタルハ漸次日本木蠟業ノ發達ヲ阻碍シ且海外ニ於ケル之カ聲價ヲ失墜スルノ因タルヘキヲ以テ其ノ輸入ヲ防キ斯業ヲ保護セムカ爲關稅定率法中「バラフキン、ワックス」及蠟燭以外ノ蠟ニ對シテハ從價稅率ヲ四割ニ増加セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

貴族院議長 公爵德川 家達

意見書案

關稅定率法中「スチアリン」稅率改正ノ件

福岡縣福岡市藏本町平民木蠟業太田大次郎外一名呈出

右ノ請願ハ「スチアリン」ノ輸入ハ「バラフキン」蠟燭ノ製造ヲ盛ナラシメ隨テ本邦木蠟業ノ發達ヲ阻碍スルノ虞アルヲ以テ斯業ヲ保護シテ貿易ノ發展ヲ計ラムカ爲速ニ關稅定率法輸入稅表中「スチアリン」ノ稅率ヲ三倍ニ増加セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

「バラフキン、ワックス」及「スチアリン」輸入稅率改正ノ件

福岡縣福岡市藏本町平民木蠟業太田大次郎外一名呈出

右ノ請願ハ政府ハ燐寸業ト木蠟業トヲ併セ保護スルノ目的ヲ以テ「バラフキン、ワックス」ノ用途ニ依リ一定ノ標準ヲ立テ之カ輸入稅ノ有無ヲ別チタルモ其ノ效果不十分ニシテ貿易ノ伸張ヲ計ル所以ニアラサルニ依リ該品ノ全部ニ關稅ヲ課シ其ノ稅率ヲ二倍ニ引上ケ協定稅率ノ撤廢ヲ圖リ且燐寸ニ用ウルモノニ對シテハ特ニ戾稅ノ制ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 是モ採擇シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十七、山陰縦横貫鐵道連絡速成ニ關スル請願、會議、議事日程第十八、平戸區裁判所御厨出張所設置ノ請願、會議、議事日程第十九、避難漁港築造ノ請願、會議、議事日程第二十、山陰山陽連絡鐵道敷設ノ請願、會議

意見書案

山陰縦横貫鐵道連絡速成ニ關スル件

島根縣那賀郡濱田町長三浦博智呈出

右ノ請願ハ石見地方ノ發達ノ遲延タルハ主トシテ交通機關ノ不備ナルニ因ルカ故ニ速ニ山陰縦横貫鐵道中今市ヨリ山口町附近ニ至ル線路及山陰横斷鐵道ヲ敷設シ以テ此等地方ノ利便ヲ開發シ且國力ノ發展ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

平戸區裁判所御厨出張所設置ノ件

長崎縣北松浦郡御厨村長大久保純外一名呈出

右ノ請願ハ長崎縣御厨星鹿ノ兩村ハ人口多ク產物ニ富ミ諸般ノ取引頻繁ナルニ拘ラス區裁判所出張所ノ設ナキカ爲甚シク登記ノ滯滞ヲ來シ不利益ヲ蒙ルコト大ナルヲ以テ曩ニ之カ設置ニ關シ帝國議會ニ請願シ其ノ採擇スル所トナリタリト雖未タ其ノ實行ヲ見サルニ付速ニ之ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

避難漁港築造ノ件

靜岡縣榛原郡御前崎村長松林平右衛門呈出

右ノ請願ハ靜岡縣榛原郡御前崎村附近ノ海上ハ縣下有數ノ漁場ナルモ七十五里ノ灘上一ノ避難港モナク爲ニ漁船ノ難破スルモノ尠カラサルカ故ニ之カ築造ノ必要ヲ認ムト雖僻村ノ資力ノ到底堪フル能ハサル所ナルニ依リ曩ニ第二十四回帝國議會ノ開會ニ際シ補助金ノ下付ヲ請願シテ採擇セラレタルニ付速ニ國庫ヨリ相當ノ補助金ヲ下付シテ此ノ事業ヲ完成セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

意見書案

山陰山陽連絡鐵道敷設ノ件

岡山縣吉備郡總社町長子爵蔭田廣孝外九十二名呈出(六通)

右ノ請願ハ山陰山陽連絡鐵道ノ敷設ハ最急要ヲ認ムルモノニシテ之カ豫定線路中中國鐵道吉備線總社驛ヨリ備中ヲ貫キ米子境ニ至ルモノハ工事容易ニシテ交通ニ便ナルノミナラス全線第十七師團ノ管下ニ在リテ國防上亦有利ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

〔中島永元君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 中島君ハ……

○中島永元君 此第二十ノ請願ニ付イテ少シ意見ガアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 中島君ニハ御説ガアルヤウデアリマスカラ、議事日程ノ第十七ヨリ第十九マデヲ問題ニ供シマス……採擇シテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、中島君ハ……

○中島永元君 山陰山陽連絡鐵道敷設ニ關シテ津山米子間ノ速成ノ請願ハ二月十七日ノ會議ニ於キマシテ、本院ハ採擇スベシト可決シテ、サウシテ政府ニ送付シテアリマス、然ルニ今更ニ此吉備線ノ總社驛ヨリ備中ヲ貫キ、米子境ニ至ル線路ノ速成ヲ請願シテ居リマス、之ヲ採擇スルト云フコトニナリマスレバ、同ジ場所ニ二線路ヲ敷設スルコトニナリマス、是ハ甚ダ不必要ナ線路デアラウト思ヒマス、僅カナ所ニ二線路ヲ敷クト云フコトハ無用ノ事ト思ヒマス、今ノ財政デ……請願委員會デハ或ハ固ヨリツノ場所ニ二線路ヲ敷設スルト云フ譯デハナイ、是ハドチラガ宜イカ、政府ニ參考ノタメ送付スルノデアルト云フヤウナ意味カラ、或ハ此意見書ヲ出サレタコト、思ヒマスケレドモ、既ニ津山線ヲ相當ノ聯絡線ト見テ、コ、デ可決シタ以上ハ、又他ニ第二ノ線路ヲ必要トシテ敷設ノ請願ヲ可決スルト云フコトハ、甚ダ議院ノ面目トシテモ、是ハ爲スベカラザル事デアラウト考ヘマス、尤モ鐵道敷設ノマダ初メ頃ノ時期ニ於キマシテハ、或ハ政府モ線路ノ調査ガ能ク届キマセヌデ計畫中ニ比較線ナドヲ出シテ、他日ノ能ク調査ヲ期シテ居タコトモアリマス、當院デモ其比較線……比較線ノ雙方カラ續々ト請願ガ出マシタコトモアルト記憶シテ居リマス、其頃ハ或ハ雙方ノ請願ヲ採擇シタコトモアルカトモ思ヒマスケレドモ、是ハ餘ホド鐵道ノ技術ノ進マヌ時分デアリマスガ、最早大概政府ノ調査モ届キマシテ、ソレト計畫ガ立ッテ居リマス、此津山カラ米子ニ行クト云フ線路ハ政府モ從來是ハ計畫シタコトデアリマシテ、既ニ本議會ニ於キマシテモ、先日帝國鐵道會計法案特別委員會ニ參考トシテ提出セラレマシタ時ニモ、建設費將來ノ追加見込表中ニ明記シテアルヤウナ譯デ、既ニ此線路ヲ採ルコトハ政府モ認メテ居ルト思ヒマスノデ、又實際ノ所カラ見マシテモ既ニ岡山カラ津山マデハ三十五哩モ敷設シテアリマス、然ルニ岡山總社間ハ僅カ十二哩足ラズノ所デアアル、既成線カラ見ルト既ニ三倍モ遠距離ニナッテ居ル、ソレデ此先キノ未成線ノ計畫ハ餘ホド比較上短距離ニナルニ違ヒアリマセス、得失ノ上カラ見マシテモ、サウ云フ明確ナ譯デアリマスカラ、當院ニ於テモ先日可決セラレタ譯デアリマス、ソレデ今彼モ協ヒ、是モ協ヘ、ト云フヤウニ無用ノモノヲ採擇シテ、政府ニ強フルト云フコトハ、甚ダ立法府ノ仕事トシテハ不穩當ノ事ト考ヘマス、本員ハ此請願ハ否決セラレムコトヲ希望イタシマス

○三宅秀君 唯今否決ノ御説ガ出マシタカラ、其事ニ付キマシテ一應請願委員會デ調べマシタ事柄ヲ一言イタシテ置キマス、勿論此請願ニ付キマシテハ政府委員ヲ會場ニ呼ビマシテ委シイコトヲ承ツタノデハゴザイマセスガ、幸ニ此請願ヲ取次ガレマシタ所ノ紹介議員ハ其地方ニ極ク(聽取シ難シ)ノ方デアリマシテ餘ホド委シイ説明ヲサレマシタ、又請願書ノ中ニモ随分ニ委シク書イテアリマス、本員等ガ請願委員ト致シマシテ、繪圖面等ニ依ッテ見マシテモ、幾分力ハ参考トスルニ足リルト考ヘマシテゴザイマスカラ、ソレ故ニ採擇イタシマシタ譯デアリマス、其譯ハ第一、此總社カラ米子ニ參リマサル線路ノ中ニハ高梁ト云フ有名ナ土地ガゴザイマス、高梁川ニ沿ヒマシテ、敷クト云フ所デ、工地上餘程ラクナコトデアラウト存ジマス、又總哩數ニ致シマスルト云フト、是マデノ既定線路ヲ岡山ヨリ津山ヲ經テ米子ニ參リマサル線路ハ百哩以上ニナッテ居リマス、此總社カラ米子ニ參リマサル方ノ線路ハ八十三哩トヤラデ行ケルノデアリマスカラシテ、其點ニ於キマシテモ、幾分カ利益ガアルダラウト考ヘマス、又今日マデ出來テ居リマサル線路ノ中ニハ随分峻坂ガアリマシテ、餘ホド工地上無理ナ事ヲヤッテ居ルノダサウデゴザイマス、ソレカラ尙ホ未成線ニナッテ居リマス米子(聽取シ難シ)岡山ノ間ニ四十曲リトカ云フ險阻ナ所ガアリマス、之ヲ通シテ行クトハ餘ホド工事ガ困難ト思ヒマス、然ルニ此度ノ總社カラ米子ノ方ニ參リマスノハ一ツノ山脊ヲ越サナケレバナラヌケレドモ、四十曲リノ所ヲ經ズ、其下ノ所ヲ越シテ行クサウデゴザイマス、其山脊ヲ越エテ向フヘ參リマス、又向フニモ一ツノ河川ノ流域ガアリマシテ、其流域ニ沿ウテ米子ノ方ニ參リマスサウデアリマスカラ、前後通ジテ考ヘテ見マシテモ、餘ホド便利デアラウカト考ヘラレマス、ソレデ政府ノ方デモ、聊カ其方ハ考ガアルト見エマシテ、此線路ノ方ヲ踏査サレタトカ云フコトモ承リマシタニ依ッテ請願委員會ハ之ヲ採擇スルコトニ致シタノデアリマス、又序デナガラ辯ジテ置キマスガ、一トタビ津山米子ノ方ノ線ヲ可決シテ置キナガラ、又一ツ比較線ノヤウナモノヲ出シテ之ヲ政府ヘ強フルノハ妙ナモノデアラカト云フヤウナ御議論デアリマシタケレドモ、請願會ニ於キマシテハ……請願ニ於キマシテハ全ク二タ通リノ反對ノ結果ノコトサヘモ採擇シタ場合ノ先例ガゴザイマス、其先例ノ最モ明カナノハ三十六年ニ全國勸業博覽會ヲ開キマスル時分ニ東京ニ開イテ吳レト云フ請願ト大阪ニ開イテ吳レト云フ請願ト激烈ナ競争ガゴザイマシ

タ、其時ニ議院ハドウ云フコトヲ致シマシタカナレバ、ドチラモ是ハ參考ノ爲ニニツドウシテモ兩立シテ兩方探ルコトノ出來ナイモノヲ此所デ探擇シテ居ルノデアリマスカラ、政府ヘ參考トシテ送リマスルニハ、隨分表裏違ッタコトデモ探擇シテ政府ヘ送ッテモ差支ナイト思ヒマシテ、請願委員會デハ探擇スルコトニ致シタノデアリマス

○子爵松平康民君 中島君ノ說ニ贊成シマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十ノ請願ヲ探擇スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 ……

○議長(公爵徳川家達君) ドウモ不明瞭デゴザイマスカラ反對諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 探擇スベカラスト云フ方ガ多數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔太田書記官長朗讀〕

國債ノ利子所得税免除ニ關スル法律案外二件特別委員

伯爵大原 重朝君 伯爵大村 純雄君 男爵北 島 治房君
男爵中 島 久万吉君 富田 鐵之助君 仁尾 惟茂君

宮本 谷藏君 澤原 俊雄君 下村辰右衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス
本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後零時十四分散會